

１１９情報

区連会10月定例会
令和８年10月21日
都筑消防署

■ 区内の火災状況

※焼損面積は1㎡を満たない場合は切り捨てて表示しています。　**都筑消防署**

区分 ／ 年別			令和８年 9月	令和８年 累計	令和７年 9月	令和７年 累計	累計前年比 増△減
火災件数		(件)	**0**	**26**	**0**	**28**	**△ 2**
火災種別	建物火災	(件)	0	19	0	16	3
	車両火災	(件)	0	1	0	5	△ 4
	その他の火災	(件)	0	6	0	7	△ 1
焼損面積		(㎡)	0	734	0	659	75
死者		(人)	0	0	0	0	0

【９月中０件】

■ 区内の救急状況

救急車を呼ぶか迷ったら #7119



区分 ／ 年別			令和８年 9月	令和８年 累計	令和７年 9月	令和７年 累計	累計前年比 増△減
救急件数		(件)	**877**	**7,797**	**793**	**7,930**	**△ 133**
救急種別	急病	(件)	616	5,466	547	5,576	△ 110
	交通事故	(件)	48	376	48	368	8
	一般負傷	(件)	175	1,472	143	1,484	△ 12
	その他	(件)	38	483	55	502	△ 19

※数値は速報値のため、変更になる場合があります。

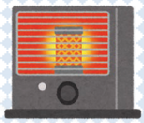
都筑消防署からの問題！

Question

ストーブ火災の原因となった器具で、最も多いものはどれでしょう？

①電気ストーブ　②石油ストーブ　③ガスストーブ







答えは裏面



住宅用火災警報器は10年を目安に

点検　交換　をしましょう!!

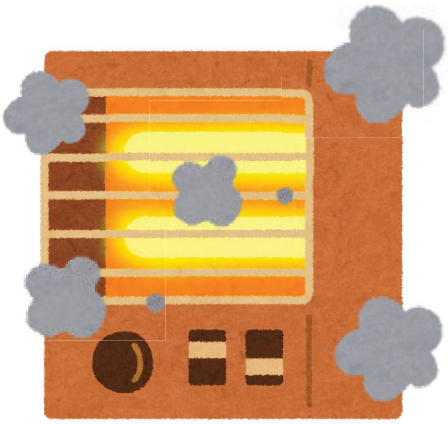
詳しい点検方法やご案内は
都筑消防署
までお問合せください
045-945-0119

都筑消防署・都筑消防団・都筑火災予防協会

都筑消防署からのお知らせ

電気ストーブの

久しぶりの使用に注意！



シーズンオフの間にたまったほこりが原因で、電気ストーブが発火し、火災になることがあります。

使用前に必ずチェック！3つのポイント

①　本体のほこりを取り除く

通気口やヒーター周辺のほこりを丁寧に掃除しましょう。

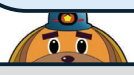
②　電源コードを確認する

コードの傷みや折れ曲がりがないか確認しましょう。

③　異常がないか確認する

異臭・異音・異常な熱がないか確認する。





クイズの答え

正解は…　①電気ストーブ

お問合せ先 都筑消防署（045-945-0119）

令和８年度　飛行場外離着陸訓練の実施について

本訓練は、大地震等の大規模災害発生時に航空消防活動を円滑に行うため、公設消防と消防団が連携し飛行場外離着陸場の設営及び陸上支援活動を行う訓練です。

飛行場外離着陸場とは…

航空法で定められた空港やヘリポートなどの「飛行場」以外の場所で航空機が離着陸を行う場所のことで、通常、航空機は飛行場以外での離着陸が禁止されていますが、国土交通大臣の許可を受けることで、一時的・例外的に利用できるようになります。

１　実施日時・場所

令和８年 12 月 3 日（木）　８時 30 分から 12 時 00 分まで（荒天や災害発生時は中止）

都筑区東方町 1401 番地　JA 横浜きたグラウンド

２　参加部隊

（1）　公設消防：都筑指揮隊、都筑第１消防隊、都筑第２消防隊、都筑ミニ隊、
川和消防隊、仲町台特別救助隊、消防航空隊

（2）　消防団　：第五分団

３　訓練内容

（1）　消防隊及び消防団による飛行場外離着陸場の設営訓練　※

（2）　仲町台特別救助隊及び都筑消防団による離着陸時の機体誘導訓練

※ヘリコプターが飛来する際に、ローターからの下向の風（ダウンウォッシュ）が発生するため、地表面に散水して砂埃等を抑制します。また、グラウンド内に残置された物品についても飛散危険があれば一時的に移動等の措置を行う場合があります。

４　区内訓練実績

H29	H30	R2	R3	R4	R5	R6・R7
牛久保西公園	早渕公園	JA横浜北グラウンド	葛か谷公園	JA横浜北グラウンド	葛か谷公園	JA横浜北グラウンド

※　R7 年度の訓練は山梨県での山林火災に航空隊が応援派遣となったため中止

５　訓練スケジュール

８ 時 30 分～	全隊集結完了及び事前準
９ 時 00 分～	訓練内容説明及び訓練準
10 時 00 分～	訓練開始
11 時 30 分～	訓練終了報告
11 時 50 分～	デブリーフィング
12 時 00 分	撤収完了

【担当】都筑消防署総務・予防課
総務・予防課長　久保　竜夫
仲町台出張所長　酒匂　政行
電話　045-945-0119

区連会 10 月定例会説明資料
令和 8 年 10 月 21 日
みどり環境局
戦略企画課
総務局税務課

横浜みどりアップ計画[2024-2028]2年目の実績報告について【情報提供】

1　報告の趣旨

横浜みどりアップ計画につきましては、2009 年度から、横浜みどり税を財源の一部として活用させていただきながら、緑の保全・創出に向けた様々な事業・取組を推進しています。

2024 年４月からは４期目となる新たな５か年計画[2024-2028]に取り組んでいます。

このたび、２年目の 2025 年度を振り返り、取組の成果をまとめた実績報告書を作成しましたのでご報告いたします。

2　お願いしたいこと

【区連長】ご承知おきください。

【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。

【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　配布資料

（１）　横浜みどりアップ計画[2024-2028]概要版冊子
（２）　２年目（2025 年度）の実績概要
（３）　２年目（2025 年度）の区別実績
（４）　「横浜みどり税」の説明チラシ
（５）　横浜みどりアップ計画の制度ガイド

【問合せ】
横浜みどりアップ計画の広報に関すること
みどり環境局戦略企画課　TEL：671-2712　FAX：550-4093

横浜みどり税に関すること
総務局税務課　TEL：671-2253　FAX：641-2775

横 浜
みどりアップ計画








横浜みどりアップ計画［2024-2028］（概要版）

横浜みどりアップ計画

暮らしのなかに
ふと気づけば緑があるということ

毎日の生活を豊かに、そして未来を担う子どもたちに、
横浜の豊かな緑をつなげていくため
市民の皆様とともに「横浜みどりアップ計画」を進めていきます。



美しく潤いのある
景観



暑さを和らげる



環境教育・農体験

横浜
みどりアップ計画

「横浜みどりアップ計画」は、
「横浜市水と緑の基本計画」の重点的な取組として
策定された5か年計画です。
緑の減少に歯止めをかけ、「緑豊かなまち横浜」を
次世代に継承するため、
「横浜みどり税」を財源の一部に
活用し取組を推進しています。



健康づくり・
レクリエーション



多様な生き物の
すみか



防災・減災

暮らしを支え、豊かにする緑

緑は、都市環境を形成する主要な要素です。
暮らしに潤いを与えるだけでなく、防災・減災に資する機能をはじめとした
グリーンインフラとしての多様な機能を有しています。
そして、これらの機能が発揮されることで、地球温暖化対策や
SDGsの達成に寄与し、ネイチャーポジティブ※の実現にもつながっていきます。

防災・減災



雨を蓄えて浸水被害を抑えるほか、
オープンスペースとして避難場所や
火災延焼防止機能などの
防災・減災につながっています。

地産地消

街の魅力向上・賑わいの創出

健康づくり・レクリエーション



散策をはじめ、市民の身近な遊び場、
憩いの場、健康づくりの場
となっています。

環境教育・農体験



自然とふれあう環境が身近にあることで、
暮らしを取り巻く環境に対する興味や
関心を持つきっかけとなっています。

コミュニティ形成

暑さを和らげる



木陰の涼しさや、まとまった緑地が
日中の気温上昇を抑えるなど、
暑さを和らげる効果があります。

美しく潤いのある景観



快適で美しく潤いのある景観や、
自然と歴史に基づく個性と
風格のある景観をつくっています。

文化

多様な生き物のすみか

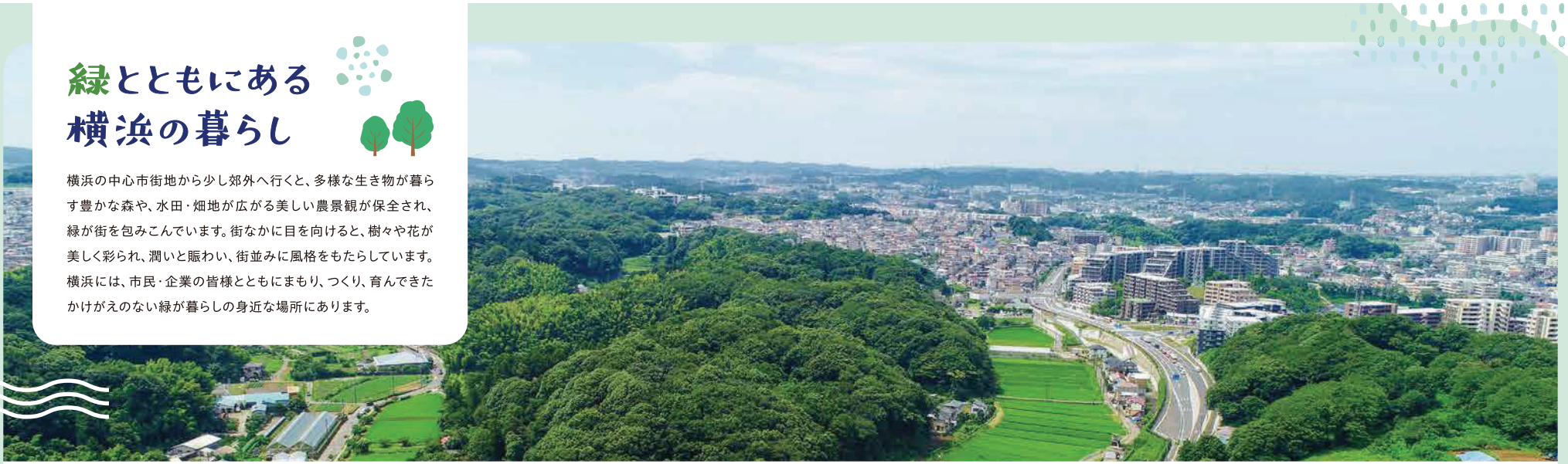


樹林地や農地などが、健全に保たれ、
まとまりやつながりを持つことで、
多様な生き物のすみかとなっています。

※ネイチャーポジティブ：「生物多様性の損失を食い止め、反転させ、回復軌道に乗せる」ことを意味し、2022年の国連生物多様性条約第15回締約国会議（COP15）で設定された新たな国際目標において、その方向性が明確に示されている。

緑とともにある横浜の暮らし

横浜の中心市街地から少し郊外へ行くと、多様な生き物が暮らす豊かな森や、水田・畑地が広がる美しい農景観が保全され、緑が街を包みこんでいます。街なかに目を向けると、樹々や花が美しく彩られ、潤いと賑わい、街並みに風格をもたらしています。横浜には、市民・企業の皆様とともにまもり、つくり、育んできたかけがえのない緑が暮らしの身近な場所にあります。



横浜みどりアップ計画［2024-2028］の方向性

多様なコミュニティの形成や市民活動の支援の拡充

全市域に広がっている緑や花に関する活動への支援を充実させ、さらに展開させることで、活発な市民活動が行われている姿を目指します。

地域で取り組む緑化活動





森を支える森づくりボランティア



市民が緑に関わる取組のさらなる展開

市民が緑にふれ、感じることができるよう、魅力的な空間づくりや体験イベントの開催をはじめ、これまで確保してきた緑のストックの一層の活用を進めます。

緑花による魅力ある空間づくり



農体験



地産地消にふれる機会



身近な緑の着実な確保と維持管理による質の向上

引き続き身近な緑の場を保全・創出して良好な育成を進めることで、都市環境を形成する主要な要素である緑のもつ多様な機能を効果的に発揮させていきます。

まちなかでの緑の創出・育成

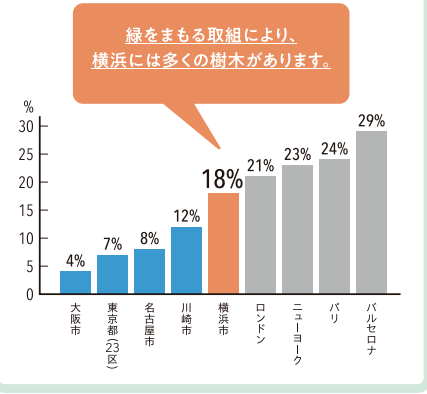


森の保全と 良好な育成



取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝え、取組の共感と、緑のある暮らしの実感につながる広報を展開。

［都市別］
樹木エリアの割合比率



Googleの温室効果ガス排出量推計ツール
(EIE：Environmental Insights Explorer)より
https://insights.sustainability.google/









森を愉しむ

–市民の森を散策–

ココに横浜※みどり税

市内には、散策が楽しめる市民の森が43か所あります。また、市内5か所には「ウェルカムセンター」があり、子どもから大人まで幅広い方々が、横浜の森を知って親しみ、楽しむことができるよう、情報の発信やイベントの開催をしています。横浜の森で自然を感じてみませんか。

※市民の森の整備・維持管理



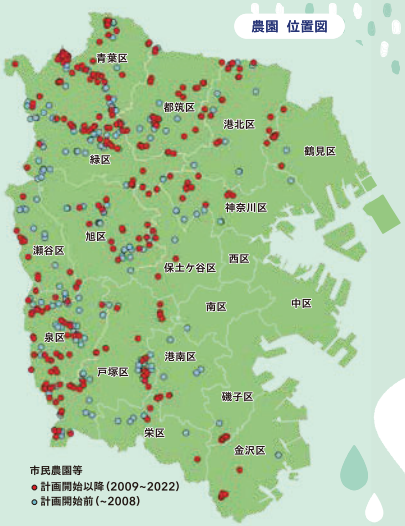
農に親しむ

–横浜の農園で収穫体験–

ココに横浜※みどり税

実は農業も盛んで、農地面積は県内ナンバー1。暮らしに身近な「農」が横浜の魅力です。市内には、野菜や果物の収穫を気軽に体験できる農園から、本格的な農作業ができる農園まで、多くの農園があります。農体験に参加したり、横浜で採れた旬の野菜や果物などを味わったり、横浜ならではの農の魅力を感じてみませんか。

※収穫体験農園開設支援・農園付公園の整備









みどりアップ計画による体験・イベントスポットはこちら!











街なかで緑や花を感じる

–季節を感じる街歩き–

ココに横浜※みどり税

街を歩けば、地域で育まれた緑や花を感じることができます。横浜では、多くの市民力により、地域ならではの緑や花の空間が彩られています。地域で取り組む緑化活動は、人と人とのつながりを生むことも。緑や花に季節を感じながら、街歩きを楽しんでみませんか。

※地域緑のまちづくり事業



横浜みどりアップ計画[2024-2028]の体系・5か年事業費

計画の理念

みんなで育む
みどり豊かな美しい街
横浜

5か年の目標

1. 緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
2. 地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
3. 市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む　事業費 303億円(86億円)

施策1 まとまりのある樹林地の保全・活用
- 事業① 緑地保全制度による指定の拡大・市による買取り　252億円(37億円)
- 事業② 良好な森の育成　46億円(46億円)
- 事業③ 森に関わる多様な機会の創出　5億円(3億円)

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる　事業費 34億円(10億円)

施策1 農に親しむ取組の推進
- 事業① 良好な農景観の保全　11億円(4億円)
- 事業② 農とふれあう場づくり　20億円(7億円)

施策2 「横浜農場」の展開による地産地消の推進
- 事業③ 身近に農を感じる地産地消の推進　2億円(–)
- 事業④ 市民や企業と連携した地産地消の展開　0.7億円(–)

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる　事業費 77億円(46億円)

施策1 市民が実感できる緑や花の創出・育成
- 事業① まちなかでの緑の創出・育成　33億円(26億円)

施策2 ガーデンシティ横浜の更なる推進
- 事業② 緑や花があふれる地域づくり　12億円(6億円)
- 事業③ 子どもを育む空間での緑の創出・育成　4億円(0.8億円)
- 事業④ 緑や花による魅力・賑わいの創出・育成　27億円(14億円)

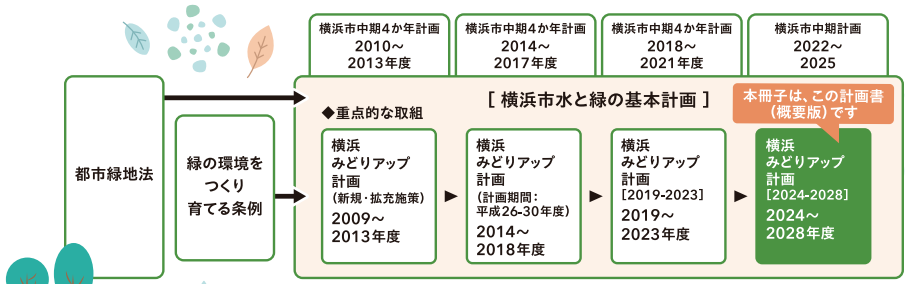
効果的な広報の展開　事業費 0.8億円(–)

- 事業① 市民の理解を広げる広報の展開　0.8億円(–)

総事業費 415億円(142億円)

※事業費の(　)はうちみどり税を記載しています。端数調整により合計値が整合しない場合があります。

計画の位置付け



横浜みどりアップ計画［2024-2028］を進めるにあたって

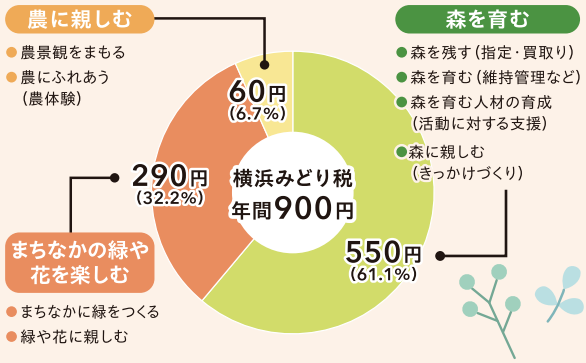
計画を進めるための財源について

横浜市では、緑の保全・創出に取り組むために必要な安定的な財源を確保するため、2009（H21）年度から市民の皆様にご負担いただいている「横浜みどり税」について、引き続き2024（R6）年度から2028（R10）年度までのご負担をお願いし、この計画の重要な財源の一部として活用していきます。

対象	税率
個人	市民税の均等割に年間900円上乗せ※
法人	市民税の年間均等割額の9%相当額

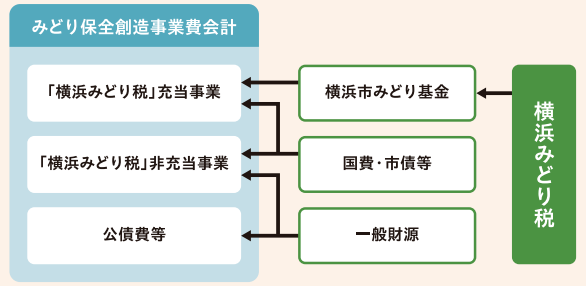
※所得が一定金額以下で市民税均等割が課税されない方を除きます。

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



横浜みどり基金と特別会計（みどり保全創造事業費会計）

横浜みどり税は、市民税の超過課税の形でご負担をお願いするものですが、その税収の使途は横浜みどりアップ計画に限定されます。そこで、この税収を管理する基金を設置することにより、他の一般財源から明確に分離するとともに、年度間の財源調整も行います。
また、横浜みどり税の使途を明確にするためには、横浜みどり税を充当して実施する事業のみならず、横浜みどりアップ計画全体について、その内容や進捗状況を他の施策と分離して明らかにしていく必要があります。そこで、横浜みどり税非充当事業（既存事業費等）を含めた横浜みどりアップ計画全体を対象とする特別会計により、横浜みどり税の使途を明確にします。



横浜みどりアップ計画市民推進会議

「横浜みどりアップ計画」の推進に向け、市民参加の組織により、みどりアップ計画の評価及び意見・提案、市民の方への情報提供等を行うことを目的として、公募市民や学識経験者などからなる「横浜みどりアップ計画市民推進会議」が2009（H21）年に設置され、2012（H24）年からは横浜市附属機関設置条例に基づく附属機関に位置付けられています。
市民推進会議では、みどりアップ計画の取組の検証や現地調査を行い、評価・提案を報告書にまとめています。


全体会議


現地調査

市民推進会議についてはこちら

お問合せ先 「横浜みどりアップ計画」について：みどり環境局戦略企画課　TEL：045-671-4214　FAX：045-550-4093　mk-mimiplan@city.yokohama.lg.jp
「横浜みどり税」について：総務局税務課　TEL：045-671-2229　FAX：045-641-2775　so-zeimu@city.yokohama.lg.jp

横浜みどりアップ計画［2024-2028］〈冊子〉は、次の場所で閲覧できます。
●各区役所の広報相談係　●市民情報センター（市庁舎3階）　●みどり環境局ウェブサイト

横浜みどりアップ計画［2024-2028］概要版　令和6年6月発行
編集・発行：みどり環境局戦略企画課

みどりアップ計画［2024-2028］はこちら

2025年度の実績概要と今後の展望

横浜市では、緑の保全・創出を進め、横浜の緑を次世代に引き継ぐため、2009年度から「横浜みどりアップ計画」に取り組んでいます。2024年度からは、第4期となる「横浜みどりアップ計画［2024－2028］」に基づき、市民の皆様とともに、森や農、緑や花を身近に感じられるまちづくりを進めています。

柱 1　市民とともに次世代につなぐ森を育む （2-8～2-23）

市内の樹林地を保全するため、緑地保全制度による40.7haの樹林地の新規指定や、17.8haの買取り対応を進めたほか、市民の森を2か所開園しました。引き続き、樹林地の指定・買取り・整備を着実に進めるとともに、多様な主体との連携により、森づくりの担い手育成と、市民が森に関わる機会の充実を図ります。

柱 2　市民が身近に農を感じる場をつくる （2-24～2-47）

市内の水田112.3haを維持し、良好な農景観を保全するための支援をしました。また、収穫体験農園や横浜ふるさと村、恵みの里での農体験、直売所等の開設、はまふぅどコンシェルジュの活動などを支援し、農とのふれあいや地産地消を推進しました。引き続き、農景観の保全と身近に農とふれあえる場づくりを進め、市民・企業等との連携も深めていきます。

柱 3　市民が実感できる緑や花をつくる （2-48～2-69）

横浜開港資料館など3か所の緑地を再整備したほか、桜並木等の再生、地域の緑化活動への支援、保育園や幼稚園、小中学校など子どもたちが過ごす施設40か所において緑を創出するとともに、都心臨海部や新横浜駅周辺の14か所で緑や花による良好な空間づくりを進めました。今後も、市民・事業者との協働や継続的な維持管理により、身近な緑や花を育んでいきます。

広報　効果的な広報の展開 （2-70～2-72）

広報紙、デジタルサイネージ、交通広告、イベント出展、こども向けリーフレット等を活用し、「横浜みどりアップ計画」と「横浜みどり税」について幅広い世代への情報発信に取り組みました。今後も緑の取組に関する市民アンケート等を事業改善に生かし、分かりやすく伝わる広報を通じて、計画への理解と共感につなげていきます。

今後の展望

引き続き、各柱の取組を着実に進めることで、市民生活を支え、潤いをもたらす貴重なみどりを次世代に継承していくとともに、保全したみどりを安全で良好に育み、市民の皆様がその魅力や大切さを身近に実感できる取組を一層強化していきます。あわせて、横浜グリーンエクスポを通じて生まれる気づきや行動、人や地域のつながりを、開催後の地域活動や次世代の担い手づくりへ展開し、人と自然が共生する持続可能な都市・横浜の実現につなげていきます。

柱1



長津田町長月特別緑地保全地区（緑区）



上菅田町市民の森（保土ケ谷区）

柱2



上飯田町（泉区）



舞岡ふるさと村（戸塚区）

柱3



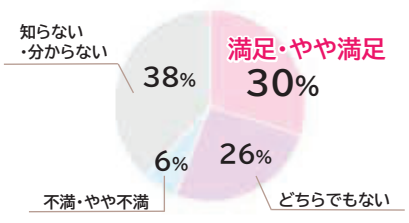
横浜開港資料館（中区）



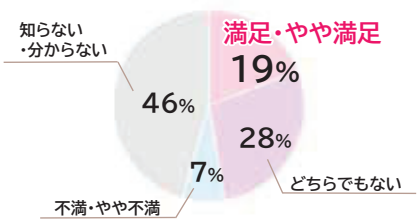
中屋敷保育園（瀬谷区）

市民アンケート※の評価　※2025年度実施　横浜市の緑の取組に関するアンケート調査

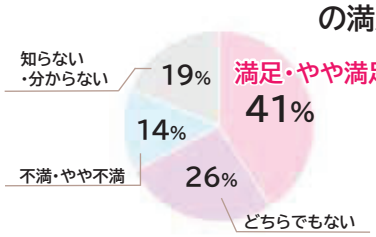
まとまりのある森の保全の満足度



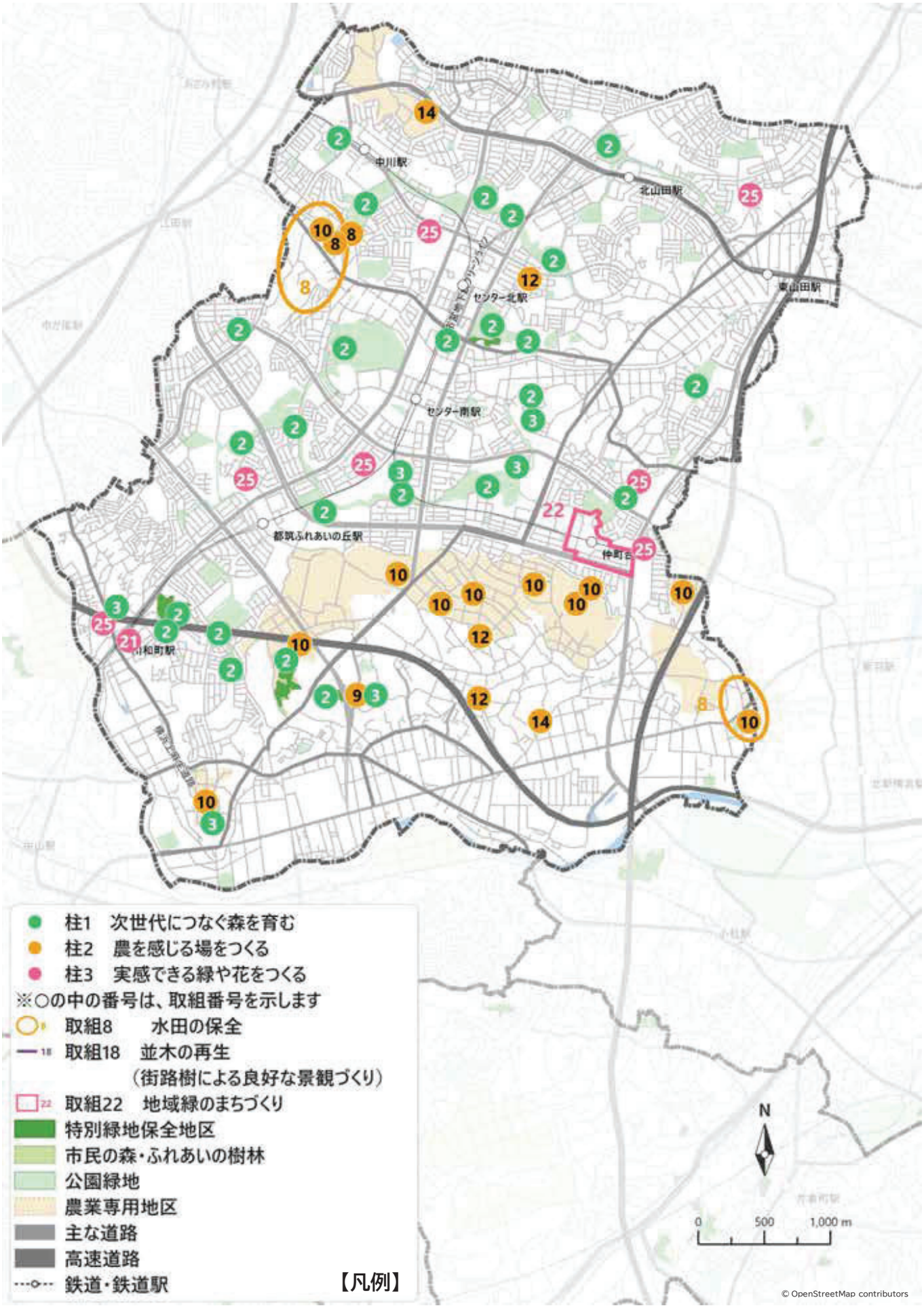
良好な農景観の保全の満足度



街なかなど身近な場所での緑化の満足度



都筑区における実績


中川駅
センター北駅
センター南駅
北山田駅
東山田駅
都筑ふれあいの丘駅
仲町台駅
川和町駅
柱1 次世代につなぐ森を育む
柱2 農を感じる場をつくる
柱3 実感できる緑や花をつくる
※○の中の番号は、取組番号を示します
取組8 水田の保全
取組18 並木の再生
（街路樹による良好な景観づくり）
取組22 地域緑のまちづくり
特別緑地保全地区
市民の森・ふれあいの樹林
公園緑地
農業専用地区
主な道路
高速道路
鉄道・鉄道駅
【凡例】
N
0
500
1,000 m
© OpenStreetMap contributors

柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

保全した樹林地の整備　川和市民の森



取組6 森に関わるきっかけづくり

区主催のイベントでの自然体験教室の開催
ecoチャレ2025　都筑中央公園



柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

取組9 特定農業用施設保全契約の締結

農機具格納庫　池辺町



取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

農地縁辺部への植栽
折本農業専用地区協議会



柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

緑や花を身近に感じる各区の取組
サンパチェンス植え付け　江川せせらぎ緑道



取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

身近な公共施設で緑の育成
センター南すきっぷ広場



柱1 市民とともに次世代につなぐ森を育む

●取組2 森の多様な機能に着目した森づくりの推進

・森の維持管理

樹林地　6か所

池辺町八所谷戸特別緑地保全地区／大棚町特別緑地保全地区／池辺市民の森／川和市民の森／川和緑地／茅ケ崎緑地

公園　19か所

吾妻山公園／牛久保公園／大塚・歳勝土遺跡公園／大原みねみち公園／折田不動公園／鴨池公園／烏山公園／くさぶえのみち／葛ケ谷公園／ささぶねのみち／せきれいのみち／茅ケ崎公園／月出松公園／都筑中央公園／徳生公園／早渕公園／山崎公園／山田富士公園／ゆうばえのみち

●取組3 指定した樹林地における維持管理の支援

・維持管理の助成

7か所　池辺町／川和町（2か所）／佐江戸町／茅ケ崎東一丁目／茅ケ崎南一丁目／茅ケ崎南四丁目

●取組5 森づくり活動団体への支援

・森づくり活動団体への支援

公園　4団体

●取組6 森に関わるきっかけづくり

・市内大学や関連団体などとの連携や区主催による地域の森でのイベントの実施

40回　各種イベント（4回）／クラフト教室等（36回）

柱2 市民が身近に農を感じる場をつくる

●取組8 水田の保全

・水田保全面積

3.38ha　荏田東町／荏田南町／大熊町／中川四丁目

・水源・水路の整備

2件　荏田中川水利組合（2件）

●取組9 特定農業用施設保全契約の締結

・特定農業用施設保全契約の締結

1件　池辺町

●取組10 農景観を良好に維持する活動の支援

・まとまりのある農地を良好に維持する団体の活動への支援

集団農地維持活動団体　9件

荏田中川水利組合／大熊下水利組合／折本農業専用地区観音山協議会／折本農業専用地区協議会／佐江戸宮原農用地利用改善組合／新羽大熊農業専用地区協議会／横浜市都筑区都田第一土地改良区／横浜市都筑区東方西部土地改良区／横浜市都筑区東方北部土地改良区

農地縁辺部への植栽　5件

折本農業専用地区観音山協議会／折本農業専用地区協議会／新羽大熊農業専用地区協議会／横浜市都筑区都田第一土地改良区／横浜市都筑区東方北部土地改良区

農景観保全整備　2件

折本農業専用地区観音山協議会／横浜市都筑区東方北部土地改良区

・周辺環境に配慮した活動への支援

緑肥作物等による環境対策　1.05ha

池辺町（4か所）／大熊町／折本町（4か所）／東方町

●取組12 様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

・様々な市民ニーズに合わせた農園の開設

収穫体験農園　0.20ha

牛久保東一丁目／東方町（2件）

●取組14 地産地消にふれる機会の拡大

・地産地消にふれる機会の拡大

直売所・青空市等の支援

直売所・加工所　2件

牛久保町／折本町

柱3 市民が実感できる緑や花をつくる

●取組18 街路樹による良好な景観づくり

・街路樹による良好な景観づくり

良好な維持管理 1,596本

佐江戸北山田線(歴博通り)／池辺市ケ尾線

●取組21 名木古木の保存

・名木古木の保存

維持管理の助成 1件

川和町(1件)

●取組22 地域緑のまちづくり

・地域緑のまちづくり

継続支援 1地区

仲町台駅前地区

●取組23 地域に根差した緑や花の楽しみづくり

・緑や花を身近に感じる各区の取組

各区の取組

花いっぱい活動(区内市立保育園)／つづき みどりと花のまち巡り等

身近な公共施設での緑の育成 3か所

都筑区庁舎／センター北広場／センター南すきっぷ広場

地域の花いっぱいにつながる取組

球根の配布(池辺町不動原公園など21か所)／花苗の配布(池辺町不動原公園など44か所)／堆肥の配布(吾妻山公園など43か所)

●取組24 人生記念樹の配布

・人生記念樹の配布

867本

●取組25 保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

・保育園・幼稚園・小中学校での緑の創出・育成

緑の創出 2か所

つづきルーテル保育園／山田小学校

緑の育成 5か所

大熊保育園／シープ保育所／茅ケ崎南保育園／みどり保育園／川和小学校

よこはまの緑を
未来を担う
子どもたちのために

暮らしを支え、豊かにする緑を未来に残すために、
横浜市は、市民・事業者の皆様に「横浜みどり税」をご負担いただき、
緑をまもり、つくり、育む「横浜みどりアップ計画」を進めています。



横浜みどり税について

横浜みどり税の税額

個人市民税均等割に年間 **900円** を上乗せ

※法人の場合は、年間均等割額の9%相当額を上乗せ

※課税年度は、令和10年度までです。

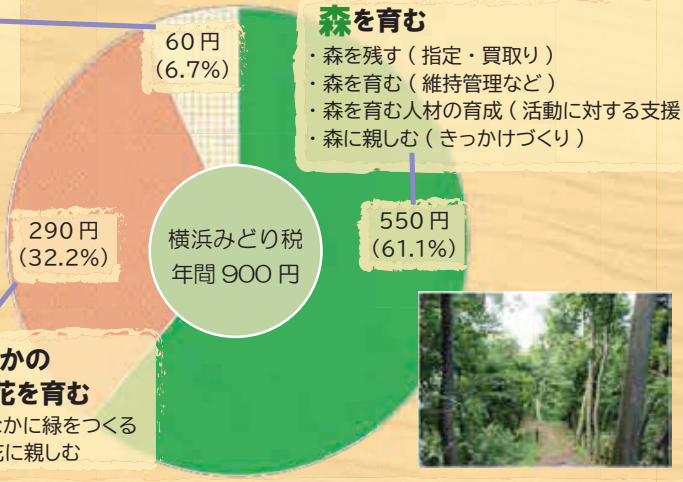


横浜みどり税の使途

「横浜みどりアップ計画」のうち、下記の横浜みどり税の使途に該当する事業へ横浜みどり税を充当します。

- 樹林地・農地の確実な担保
- 身近な緑化の推進
- 維持管理の充実による みどりの質の向上
- ボランティアなど市民参画の促進につながる事業

横浜みどり税（年間900円）の使いみち



農に親しむ
- 農景観をまもる
- 農にふれあう（農体験）





まちなかの緑や花を育む
- まちなかに緑をつくる
- 緑や花に親しむ

森を育む
- 森を残す（指定・買取り）
- 森を育む（維持管理など）
- 森を育む人材の育成（活動に対する支援）
- 森に親しむ（きっかけづくり）

横浜みどりアップ計画 [2024-2028]

計画の理念　**みんなで育む　みどり豊かな美しい街　横浜**

５か年の目標

・緑の減少に歯止めをかけ、総量の維持を目指します
・地域特性に応じた緑の保全・創出・維持管理の充実により緑の質を高めます
・市民と緑との関わりを増やし、緑とともにある豊かな暮らしを実現します

みどり税を活用した取組

市民とともに 次世代につなぐ森を育む

５か年の主な取組

- 樹林地の新規指定と買入れ申し出への対応
- 指定樹林地への維持管理支援
- 森に親しむきっかけづくり

市民が身近に 農を感じる場をつくる

５か年の主な取組

- 水田保全への支援
- 農園の開設など、農とふれあう機会の全市的な展開

市民が実感できる 緑や花をつくる

５か年の主な取組

- まちなかでの緑の創出や街路樹等による景観づくり
- 地域での緑や花の取組支援
- 子どもを育む空間での緑の創出・育成

市民・事業者の皆様に取組の意義や成果、緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、緑のある暮らしの実感につながる**広報**を展開

森林環境税（国税）と横浜みどり税



Q 国の森林環境税と横浜みどり税はどう違うの？

A 目的と使いみちが異なります。

森林環境税は、林業が成り立たない地方の山間部の森林整備や、国産木材の利用促進を主な目的として創設されました。横浜市では、木材利用の促進を図るため、学校施設や公園などの市民利用施設の木材利用工事に活用しています。

横浜みどり税は、市内の緑の保全・創造を目的としたものであり、樹林地の買い取りや、まちなかでの緑の創出などに活用しています。森林環境税と横浜みどり税は、趣旨と使いみちが異なります。

●森林環境税（国税）・森林環境譲与税について

趣旨（目的）	わが国の温室効果ガス排出削減目標の達成や災害防止等を図るための地方財源を安定的に確保するため
課税手法・税率	年間 1,000 円を個人住民税と併せて賦課徴収
課税期間	令和６年度から
市町村への譲与	国が令和元年度から一定の基準で 譲与 （令和5年度までは、 地方公共団体金融機関の準備金を活用）
使いみち	間伐や人材育成・担い手の確保、木材利用の促進や普及啓発等の森林整備及びその促進に関する費用

※このほか、神奈川県では、水源環境保全・再生のために、個人県民税に対する超過課税を実施しています。

【お問い合わせ】

●「横浜みどり税」について
▶区役所税務課　　または　総務局税務課　　電話：045-671-2253　FAX：045-641-2775

●「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」について
▶みどり環境局戦略企画課　　電話：045-671-4214　FAX：045-550-4093

令和８年４月　横浜市総務局税務課

横浜みどりアップ計画

地域・個人で利用できる！横浜みどりアップ計画の制度ガイド

～ 街の緑が、暮らしを豊かにする ～

横浜みどりアップ計画には、**地域や個人の方が利用できる制度**もあります。
「こんなことがしたい」から探せるようにまとめています。

地域・団体で取り組む　個人・ご家庭で使える　参加・受講する

地域・団体で取り組む

①

地域で花植えや植樹に取り組みたい
制度名：地域緑のまちづくり

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】住宅地・商店街などで、地域にふさわしい緑を増やす取組を支援します。
【支援内容】最大3年間 1,500万円まで （整備費90%以内 ほか）
【対象】地域が主体となって緑化計画を提案する団体（選考あり）

②

森づくりの活動を充実させたい
制度名：森づくり活動団体への支援

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】保全管理計画づくり、研修、道具の貸出し、チップ化作業、アドバイザー派遣などをサポートします。
【支援内容】研修・道具貸出・アドバイザー派遣等の各種サポート
【対象】市民の森・都市公園内などの樹林地で活動する団体

個人・ご家庭で使える

③

家族の思い出になる木を育てたい
制度名：人生記念樹の配布

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】出生・結婚などの記念に、市内で生産された記念の苗木をお渡しします。
【支援内容】記念の苗木を配布（年2回・6月頃と10月頃／市内各所で配布）
【対象】記念を迎える横浜市民（郵送・インターネットで申込）

④

歴史ある樹木を次世代に残したい
制度名：名木古木の保存

【お問合せ先】
環境活動事業課（緑化担当）
045-671-3447

【できること】町の象徴として親しまれてきた由緒ある樹木を「名木古木」に指定し、保存を支援します。
【支援内容】診断50%（上限4万円）・治療50%（上限30万円）・管理50%（上限20万円）
【対象】由緒ある樹木の所有者（指定には審査あり）

⑤

所有している森の管理への支援を受けたい
制度名：樹林地維持管理助成

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】緑地保全制度に指定された民有樹林地の、越境樹木や危険樹木などの管理作業を助成します。
【支援内容】A：樹木管理・草地管理の作業は50万円まで100%（超過分50%）
B：フェンス・土留め設置50%
（AB合わせて上限200万円）
【対象】緑地保全制度に指定されている民有樹林地の所有者

参加・受講する

⑥

森づくり活動に参加したい
制度名：森づくりボランティア

【お問合せ先】
環境活動事業課（森づくり担当）
045-671-2624

【できること】入門講座や体験会などに参加でき、横浜の森づくり活動に加わることができます。
【支援内容】各種研修の受講・体験会への参加・情報発信
【対象】18歳以上で市内在住・在学・在勤の個人または市内事業者

⑦

農作業や緑の手入れを基礎から学び ボランティアとして活動したい
制度名：市民農業大学講座

【お問合せ先】
環境活動支援センター
045-711-0635

【できること】野菜・果樹・花き・樹木の栽培管理を実習中心で学び、修了後は「農と緑の環境リーダー」として援農や緑化ボランティアで活躍できます。
【講座内容】2年間の講座（1年次35回＋2年次の農家実習10回）（別途受講料あり）
【対象】市内在住67歳以下で、修了後に援農・緑化ボランティアの意思がある方（定員30人・多数時は選考／年1回・2～3月募集）

⑧

横浜の食と農をつなぎ地産地消を広めたい
制度名：はまふぅどコンシェルジュ講座

【お問合せ先】
農業振興課（地産地消担当）
045-671-2639

【できること】横浜の農業・農産物・生産者・食をテーマに、講義・実習・視察で地産地消の理解を深める連続講座です。修了すると「はまふぅどコンシェルジュ」に認定されます。
【講座内容】全5回の連続講座（講義・バスツアー・農体験・料理教室・グループワーク）（別途受講料あり）
【対象】地産地消の実践・普及に積極的に取り組む意思のある方（定員20名・多数時は選考／年1回・3月募集）



◆制度ガイドに関するお問合せ先
みどり環境局戦略企画課
電話 045-671-2712 ／ FAX 045-550-4093
Eメール mk-midorikoho@city.yokohama.lg.jp

◆各事業お問合せ先

区連会10月定例会説明資料
令和８年１０月２１日
下水道河川局管路保全課

雨水貯留タンク設置助成制度・
マンホールトイレ設置助成制度についてのご案内【周知依頼】

１　事業の趣旨

(1)　雨水貯留タンク設置助成制度

建築物の雨どいに接続して屋根に降った雨水を貯留し、庭木や花への水やり、庭への散水のほか、災害時の生活用水として活用することができる雨水貯留タンクの設置に対し、購入価格の２分の１（※助成金額の上限2万円）を助成します。

(2)　マンホールトイレ設置助成制度

宅地内にあるますの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保することができるマンホールトイレの設置に対し、設置に要する費用の10分の９（※助成金額の上限60万円）を助成します。

２　補助制度の概要

(1)　雨水貯留タンク設置助成制度

【申請期間】令和８年４月１日（水曜日）～令和９年２月26日（金曜日）

【助成金額】購入価格（税込み）の２分の１　※上限2万円
※端数が生じた場合は、100円未満を切り捨てます。

【助成対象者】市内の建築物（集合住宅の場合は、区分所有部分を一つの建築物とみなす）の所有者
※当助成制度を過去に利用したことのある建築物は助成対象外

【助成対象】助成対象は、密閉構造・既製品の容量100L以上の雨水貯留タンク１基（連結させて設置させる場合は２基以上でも可）およびその付属品（転倒防止チェーン、置台、接続に必要な部材等）
※送料・設置費は助成対象外

【申込方法】横浜市電子申請システム、電子メールまたは郵送

(2)　マンホールトイレ設置助成制度

【申請期間】令和８年４月１日(水曜日)から令和９年１月29日(金曜日)（必着）

【助成金額】設置に要する費用の10分の９以内　※上限60万円
※端数が生じた場合は、1,000円未満を切り捨てます。

【助成対象者】自主的な防災活動を積極的に行っている自治会町内会、マンション等の管理組合、横浜市地域まちづくり組織に基づき認定された地域まちづくり組織
※１申請団体につき助成対象は２基まで

【助成対象】助成対象は、上部構造物、下部構造物、雨水貯留タンクおよびその付属品

※「上部構造物」及び「雨水貯留タンク」の設置に要する費用のうち、設置費及び送料は助成対象外

【申込方法】横浜市電子申請システム、電子メールまたは郵送

3　お問い合わせ先・申請先

下水道河川局管路保全課　助成金担当
TEL：045-671-2829　FAX：045-641-5330
メール：gk-josei@city.yokohama.lg.jp

雨水貯留タンク設置助成制度



マンホールトイレ設置助成制度



雨水貯留タンク設置助成制度のご案内

雨水貯留タンクを購入すると助成金が出ます!

購入価格の 1/2 (上限2万円)

※送料・設置費用を除く

雨水を有効活用して脱炭素社会に貢献しませんか?

災害時や非常用水に!

災害時の断水対策、
防災グッズとして
今注目されています!

花の水やりや庭への散水に!

水道料金の
節約になります!

詳しくは
ホームページを
ご覧ください!



横浜市 下水道河川局 管路保全課

助成対象

1 密閉構造・既製品の
容量100L以上の
雨水貯留タンク1基
（連結させて設置する場合は2基以上でも可）

2 タンク設置に必要な付属品
（転倒防止チェーン、置台等）
※送料・設置費用は助成の対象外となります。



手続きの流れ

申請者　横浜市

1.申請書の提出
［添付書類］
領収書の写し・設置状況写真

→

2.審査
交付決定兼額確定通知書送付

↓

3.請求書の提出
［添付書類］
交付決定兼額確定通知書の写し

→

4.支払
指定した銀行口座に振り込みます。

注意事項

- 申請年度の4月1日以降に購入・設置をし、同年度の申請期限内に申請する必要があります。
- 雨水貯留タンクは必ず所有する建築物の雨どいに設置してください。
- 横浜市では製品の指定・推薦等は行っていません。ご自身で購入する製品・付属品をお選びください。

■問合せ
横浜市 下水道河川局 管路保全課
TEL : 045-671-2829
e-mail : gk-josei@city.yokohama.lg.jp

さらに!
宅内雨水浸透ますの
設置助成制度も行っています!
詳しくはホームページをご覧ください。

令和8年3月改訂

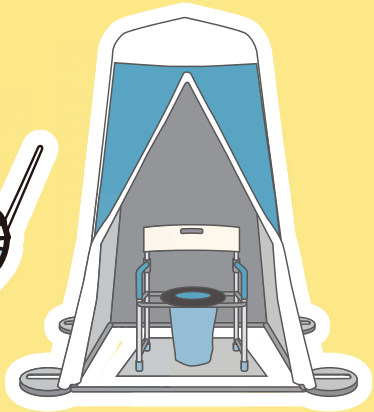
マンホールトイレ
設置助成制度のご案内

突然起こる大規模災害。でも…



発災時における快適なトイレ環境を
確保するため、町の防災組織に対して
マンホールトイレの設置助成を行います！



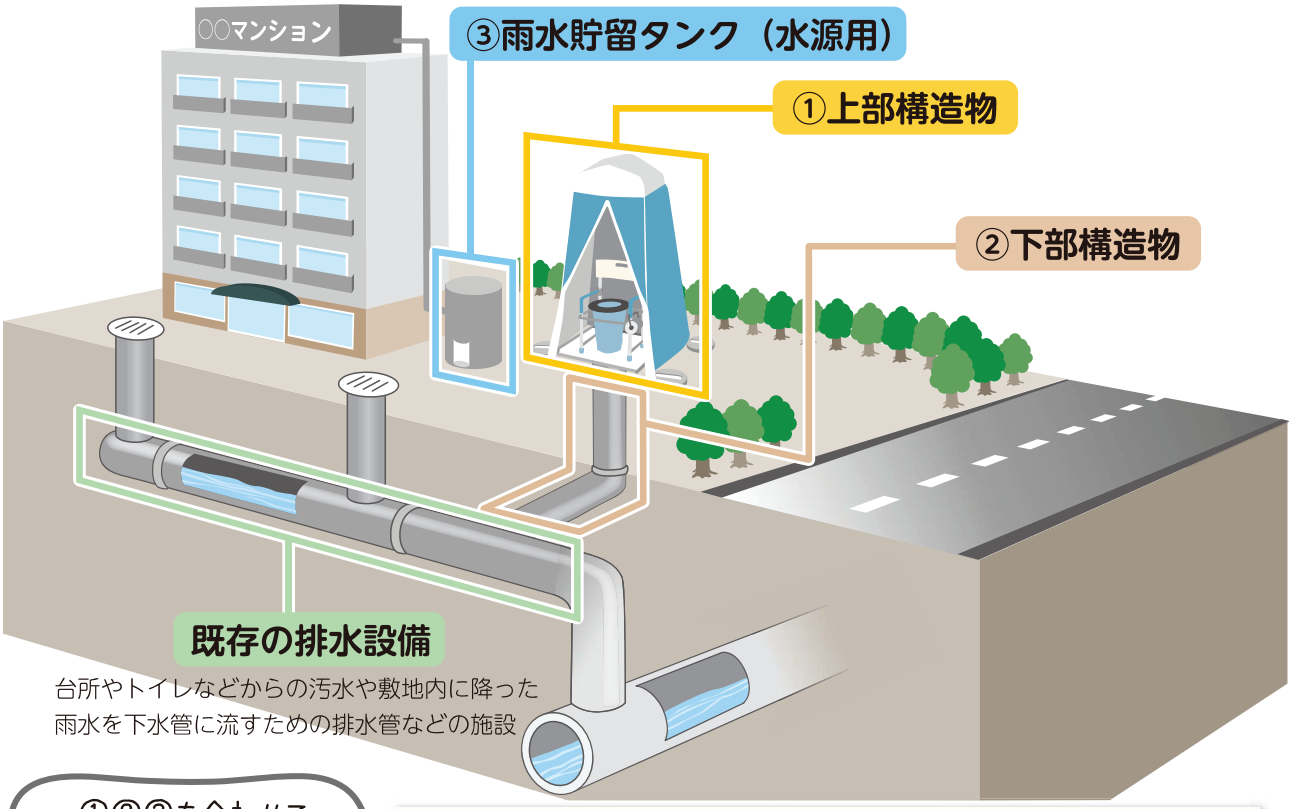


詳細はホームページをご覧ください！

横浜市　マンホールトイレ　助成　検索

マンホールトイレの仕組み

マンホールトイレとは？ ------ 宅地内にあるますの上に簡易な便座やパネルを設け、災害時において迅速にトイレ機能を確保するものです。





交付の対象物

①上部構造物	汚水ますの上に設置するパネル又はテント、便器及び設置に必要な付属品（※送料を除く2基まで）
②下部構造物	①上部構造物を設置するために必要な排水管及び汚水ます
③雨水タンク及び付属品	容量200リットル以上のもの、設置に必要な付属品

▶交付の対象者

自主的な防災活動を積極的に行っている自治会町内会、マンション等の管理組合

例：自主的な防災活動を積極的に行っている自治会・町内会、マンションの防災組織、横浜市地域まちづくり推進条例に基づき認定された地域まちづくり組織など
※個人での申請は受け付けておりません。

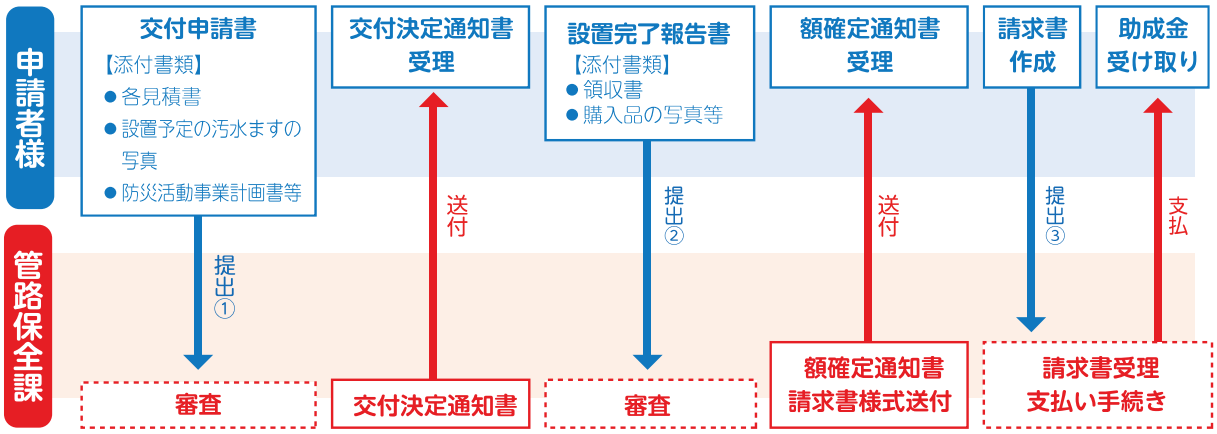
▶助成金額

マンホールトイレの設置に要する費用の10分の9以内。（上限60万円）

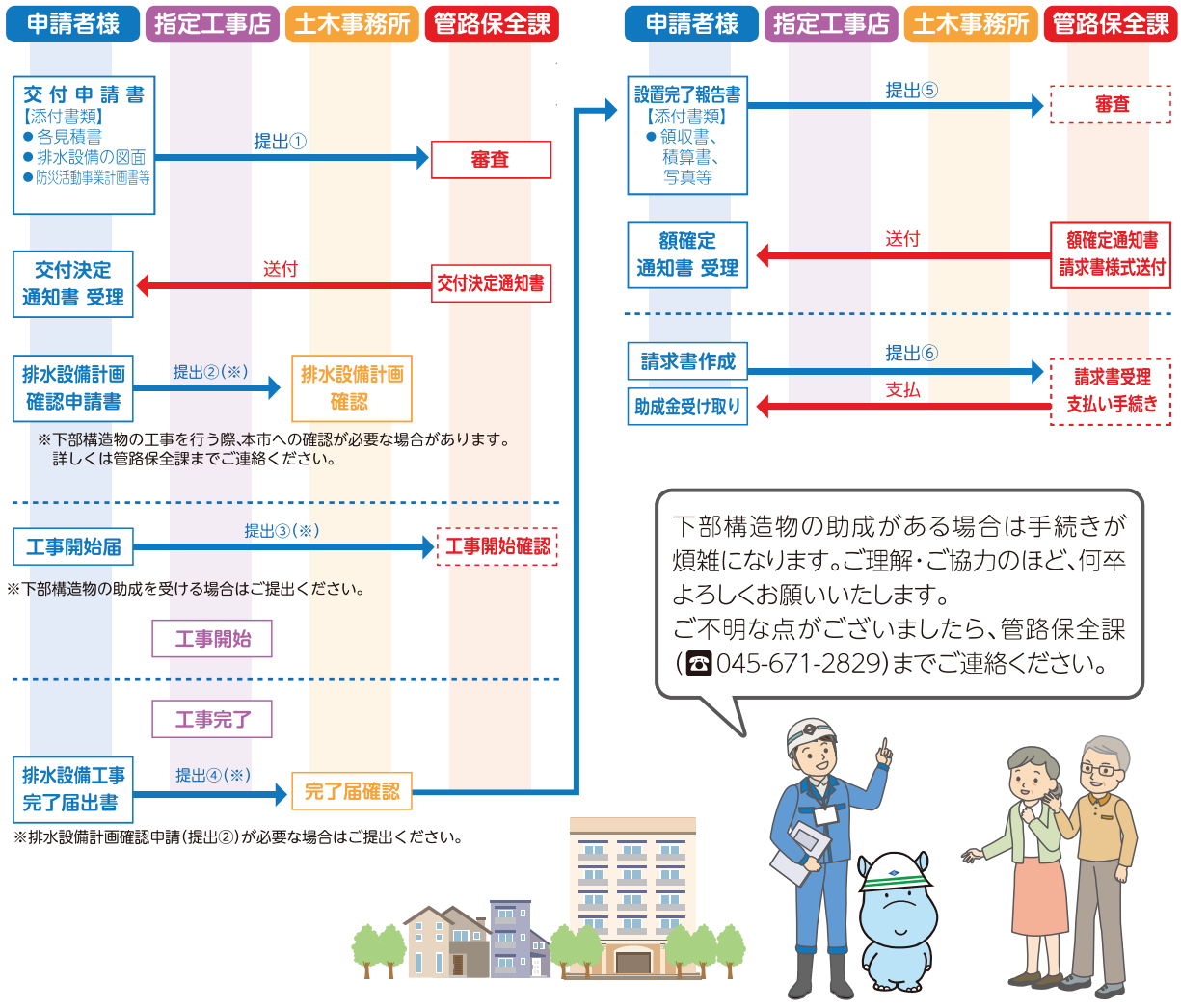
予算の上限に達した時点で受付を終了します。

設置助成制度の手続きの流れ

1 下部構造物の助成「無」の場合



2 下部構造物の助成「有」の場合



下部構造物の助成がある場合は手続きが煩雑になります。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。
ご不明な点がございましたら、管路保全課(☎045-671-2829)までご連絡ください。

注意事項

- 購入後に申請をしていただいても助成の対象とはなりません。申請後、本市より「交付決定通知書」を送付しますので、こちらを受理後に購入・工事を開始してください。
- 申請期間の終了はホームページにてご案内いたします。ご検討いただく場合、必ずホームページのご確認をお願いいたします。
- 指定する年月日までに設置を完了してください。
- 設置完了報告後、必要に応じて現地確認を行います。現地確認を希望される場合は、設置完了報告書に立会人のご氏名とご連絡先をご記入ください。
- 特定の個人のみ使用する場所に設置する場合は助成の対象外です。
- 申請書等をご提出いただく際、又は書類に不備等がある際にご郵送いただく場合、送料は各自で負担していただきますので予めご了承ください。
- 下部構造物の工事を行う際、別途手続きが必要な場合があります。(詳しくは3ページをご覧ください)

【区役所より「町の防災組織活動費補助金」の交付を受けている方へ】
町の防災組織活動費補助金は、本助成対象となる購入費用のうち自費負担となる部分については利用が可能です。

申請を検討される際、まずは
下記問合せ先へご相談ください！







横浜市では、こんな助成も行っています！

▶雨水貯留タンク設置助成制度

▶宅内雨水浸透ます設置助成制度

【問合せ先】横浜市下水道河川局　管路保全課
〒231-0005 横浜市中区本町6-50-10
☎045-671-2829　FAX045-641-5330　✉gk-josei@city.yokohama.lg.jp

令和８年１月改訂

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 13 日
資 源 循 環 局 業 務 課

年末年始の資源とごみの収集日程について

1　事業の趣旨

本年度の年末年始の資源とごみの収集は以下のとおり行いますので、自治会町内会長様へお知らせをさせていただきます。（詳細は、裏面資料参照）

また、班回覧の中止に伴い、自治会町内会掲示版へのチラシの掲出をお願いいたします。チラシの配布につきましては、11 月下旬に各自治会・町内会へ配送させていただきますので、よろしくお願いいたします。

都筑区では引き続き回覧もお願いいたします。
11/20の区連会資料と併せて、資料をお送りします。

2　お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で周知をお願いします。
【単位会長】定例会等で周知していただき、掲示板へのチラシ掲出をお願いします。

班回覧もお願いします。

3　年末年始の収集日程について

(1)　12 月 31 日（木）から 1 月 3 日（日）まで、収集をお休みさせていただきます。
(2)　「燃やすごみ」「資源物」について、年末は 12 月 30 日（水）まで、年始は 1 月 4 日（月）から通常の曜日どおり収集します。

4　広報について

(1)　自治会町内会掲示板へのチラシ掲出 ← 班回覧もお願いします。
　　※11 月下旬に各自治会町内会へ配送させていただきます。
(2)　各集積場所に収集日程表を貼付
(3)　広報よこはま 12 月号（市版）
(4)　ごみ収集車によるアナウンス
(5)　市・局ホームページへの掲載
(6)　LINE・X（旧 Twitter）などへの掲載

5　資料（裏面）

年末年始の資源とごみの収集日程

担当：業務課計画係（収集日程に関するお問合せ）
　　業務課運営係（広報に関するお問合せ）
電話：671-2551（計画係）、671-3815（運営係）
FAX　：業務課 662-1225

区連会 10 月定例会説明資料
令和８年 10 月 21 日
都筑区地域振興課

都筑地振 第 1358 号
令和８年 10 月 21 日

都筑区連合町内会自治会
　地区連合会長　各位

都筑区長　　佐々田　賢一

令和８年度つづき３Ｒまちの美化推進功労者表彰候補者の推薦について（依頼）

日頃から、都筑区内の街の美化活動の推進に、多大な御協力を賜り厚く御礼申し上げます。
都筑区では毎年、街の美化及び横浜市一般廃棄物処理基本計画の推進に功績のあった個人又は団体に対して、その功績を称え、表彰を行っています。
つきましては、各地域で顕著な活動をされている方（個人又は団体）を御推薦くださいますよう、お願いいたします。

１　功績区分（表彰基準）

（１）清掃
地域における清掃活動・啓発活動に尽力するなど、清潔できれいな街づくりの推進に功労のあった個人又は団体

（２）ごみの減量・リサイクル
地域でのごみ減量化活動など、ヨコハマ プラ 5.3 計画の推進に功労のあった個人又は団体

（３）緑化
緑化活動等に尽力し功労のあった個人又は団体

２　候補者数

各地区連合で上記に該当する**１個人又は１団体**の御推薦をお願いいたします。

３　推薦方法

別紙「推薦書」にご記入いただき、Ｅメール又はＦＡＸにて、お送りください。
E-mail:tz-shigen@city.yokohama.lg.jp　ＦＡＸ：０４５－９４８－２２３９
※該当者なしの場合も、その旨ご連絡ください。

４　提出期限

令和８年 12 月 18 日（金）　とさせていただきます。

５　表彰式

令和９年３月３日(水)に表彰式を行う予定です。詳細は、改めてお知らせいたします。

【担当】都筑区地域振興課　安部、石田
ＴＥＬ　９４８－２２４１
ＦＡＸ　９４８－２２３９

地域振興課 資源化推進担当　宛　　FAX:０４５－９４８－２２３９

E-mail:tz-shigen@city.yokohama.lg.jp

推　　薦　　書

年　　月　　日

都　筑　区　長

（地区連合名）
（会　長　名）

下記の者（団体）を「つづき３Ｒまちの美化推進功労者の表彰」の候補者（団体）として推薦いたします。

ふりがな 氏　　名 （団体名）		年　齢	
団体の場合	代表者氏名 構成員数　　人		
住　　所 （所在地）	〒 （電話　　－　　） （※団体の場合　連絡先　　電話　　－　　）		
功績区分 （表彰基準）	（１）清掃 （２）ごみの減量・リサイクル （３）緑化 ※該当するところに○をつけてください。複数可。		
過去に受けた 表　彰　等			
推薦理由			

※氏名、住所等につきましては、楷書体にて正確に記入してください。

市連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 13 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN × EXPO 推進課

横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会の開催及び「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」参加者募集への協力について【情報提供】

1　趣旨

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催し、横浜市出展「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の名称や、市主催催事「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」などの概要を発表しました。また、「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」では、ステージパフォーマンスの参加者を12月28日まで募集しています。

2　お願いしたいこと

【区連長】　ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で情報提供をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で情報提供をお願いします。

3　内容（添付の記者発表資料をご参照ください）

(1)　「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。また、市内10の大学・専門学校で活動する「EXPO部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートの発表、TDMパートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組を発表しました。

(2)「ヨコハマ18（イチハチ）コレクション」開催決定　ステージパフォーマンス出演者を募集

横浜グリーンエクスポ会期中、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜18区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信いただくイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を開催します。

開催にあたり、音楽やダンス、演劇などのステージパフォーマンス参加者を、12月28日まで募集しています。区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11月2日から募集を開始する予定です。

多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課
電話　045-671-4627 /FAX 045-212-1223
メール　da-greenexpo@city.yokohama.lg.jp

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

明日をひらく都市
OPEN × PIONEER
YOKOHAMA

令 和 8 年 9 月 29 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
G R E E N × E X P O 推 進 部

「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催

横浜市出展の名称が「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

横浜市が主催する特別な祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」と
「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」
横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルートも発表

横浜市は、2027 年３月から開催する横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）の開催半年前を迎え、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を開催しました。

発表会では、横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」及び「つなぐ横浜フィールド」に決定したことを発表したほか、「横浜と未来をつなぐ７日間」をテーマに展開する「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」や、横浜 18 区民が主役となって各区の魅力を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」など、市主催催事の概要を紹介しました。

また、市内 10 の大学・専門学校で活動する「EXPO 部」の始動、「横浜ネイチャークエスト」の実施、横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート、TDM パートナー向けステッカーの配布など、開催に向けた多彩な取組についても発表しました。

＜横浜市出展＞

■横浜市出展の名称を「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」に決定

「世界の明日（あす）を、みんなでひらく。」をコンセプトとし、「建物空間を活用した発信拠点」と「フィールドを活用した活動拠点」の２か所の出展をお知らせしてきました。

横浜グリーンエクスポのホストシティとして、市民・企業の皆様をはじめ、これまでの各種イベントやワークショップ、ボランティア募集、STYLE100 の取組などを通じて、多くの方々とともに準備を進めています。

これまでに生まれた多様なつながりを横浜グリーンエクスポの場に結集し、さらに開催後の未来へとつないでいきたいという思いを込め、このたび、「建物空間を活用した発信拠点」の名称を「つなぐ横浜館」、「フィールドを活用した活動拠点」の名称を「つなぐ横浜フィールド」に決定し、「つなぐ横浜館」公式 WEB サイトを公開しました。

開幕に向けて、市民・企業の皆様をつなぐ参加型ワークショップの開催等、様々な取組を進めます。

【ロゴデザイン】

つなぐ 横浜館 CIRCULAR LINK YOKOHAMA Hub

つなぐ 横浜フィールド CIRCULAR LINK YOKOHAMA Field

【つなぐ横浜館　公式 WEB サイト URL】
https://yokohama-hub.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜参考＞「つなぐ横浜館」「つなぐ横浜フィールド」の整備状況

「つなぐ横浜館」は、９月８日に GREEN×EXPO 協会より建物の引き渡しが完了しました。今後、内装や外構の工事を進め、開幕に向けて準備を進めていきます。



「つなぐ横浜館」9 月 8 日撮影

「つなぐ横浜フィールド」も、開幕に向け花壇や休憩スポット、園路などフィールド全体の整備を進めています。



「つなぐ横浜フィールド」9 月 8 日撮影

＜横浜市主催催事＞

■横浜と未来をつなぐ7日間「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」

【ロゴデザイン】

横浜市出展の取組の一つとして、「世界の明日を、みんなでひらく。」というコンセプトを体現する祭典「YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK」を、横浜グリーンエクスポ会場で開催します。

循環型都市を目指す横浜市が「チャレンジ」をキーワードに展開する、誰もが楽しみながら参加できる特別な祭典です。

パレードや蝶をモチーフとしたバタフライシンボルオブジェ、プロのアーティストによる音楽ライブ、サーキュラーな暮らしを体感できるパークなどを通じて、新しい未来に向けたさまざまな挑戦を発信します。

- 開催日程：2027 年５月 26 日(水)～６月１日(火)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場全体
- ４つのメイン企画：
  - サーキュラーをテーマに心おどる未来の物語に出会う「パレード」
    世界的なアーティストとコラボレーションしたデザイン、リユース素材を活用した衣装やフロートを用いて会場で大規模なパレードを開催します。
  - エネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェ「バタフライ」
    自然の巡りをつなぐ存在である蝶をモチーフにエネルギーがめぐるサステナブルな未来のシンボルオブジェを設置します。会場を象徴するフォトスポットとしてもお楽しみいただけます。
  - 音楽の力でサステナブルな未来への想いをつなぐ「ライブ」
    世代を超えて多くの皆さまに音楽の力を通じてグリーンな未来に向けてのメッセージをお届けします。
  - サーキュラーな未来の暮らしのヒントが見つかる「パーク」
    サステナブルな暮らしを実践する皆さまが集い、さまざまな体験をお届けします。食の展示・販売や体験型のワークショップ、物品の販売など、実際にグリーンな暮らしを実践いただくための機会をご用意します。

次頁あり

【キービジュアル】



■横浜 18 区民が主役のイベント「ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション」

【ロゴデザイン】

ヨコハマ 18（イチハチ）コレクション
Yokohama Ichihachi Collection

地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、食とエンターテインメントを通じて、各区の文化、食などの魅力や、活動を発信するイベント「ヨコハマ 18 コレクション」を、横浜グリーンエクスポ会場内で開催します。

来場者と参加する区民の皆さまに新たな出会いやつながりが生まれ、「参加したくなる」「行ってみたくなる」イベントを目指します。

また、開催にあたり、横浜の魅力をともに発信・出演していただける個人・団体の皆さまを募集します。

- 開催日程：2027 年 7 月 21 日(水)～7 月 29 日(木)
- 開催場所：横浜グリーンエクスポ会場内 大催事広場（仮称）
- 募集期間：
  - ステージパフォーマンス（ダンスや音楽、伝統芸能など）
    募集期間：2026 年 10 月 1 日(木)～12 月 28 日(月)
  - ブース出展（特産品等の提供・PR、食と地産地消等の魅力発信）
    募集期間：2026 年 11 月 2 日(月)～12 月 28 日(月)　（予定）
- 応募ページ URL：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

【横浜市主催催事　公式 WEB サイト URL】
https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp

裏面あり

＜市民参加の取組＞

■市内 10 の大学・専門学校に「EXPO部」が誕生しました！

横浜グリーンエクスポの開催に向け、大学生等が主体となって、エクスポを盛り上げるコミュニティ「EXPO 部」が横浜市内 10 の大学・専門学校で立ち上がりました。

学園祭におけるエクスポの情報発信やプロギングをはじめとする環境にやさしい活動など、学生ならではの発想による取組を展開し、SNS 等を通じて、大学・専門学校と本市が協力し、市内のキャンパスから学生発のムーブメントを生み出します。

EXPO 部のロゴ（標準例）



各大学の EXPO 部代表メンバーが集合（2026年9月）

■横浜ネイチャークエスト「2027 年、横浜グリーンエクスポ開催！横浜の自然を見つけよう！」

横浜グリーンエクスポに向けた機運醸成を図るとともに、市内の豊かな生物多様性への関心を高めていただくため、いきものコレクションアプリ「Biome（バイオーム）」を活用した参加型企画を実施します。

市民の皆様がスマートフォンを使って、身近な自然やいきものを観察・記録しながら、横浜の豊かな生物多様性を体感していただく企画です。

集まったいきものの情報は、エクスポの会場内イベントで展示する予定です。



- 実施期間：　2026 年 10 月 5 日（月）～2027 年 3 月 31 日（水）
- 対象エリア：横浜市内全域

次頁あり

＜会場への交通アクセス関連＞

■横浜都心臨海部と会場を結ぶ直行バスの運行ルート

横浜グリーンエクスポ会場までの公共交通機関によるアクセスは、会場近傍４駅からのシャトルバスのほか、横浜駅、新横浜駅、羽田空港からの直行バスが運行予定です。

さらに、会場と横浜都心臨海部をダイレクトに結ぶバスも運行を予定しています。こちらは、馬車道、野毛、みなとみらい 21 地区への玄関口である桜木町駅、みなとみらいの主要ホテルや横浜ハンマーヘッド、横浜赤レンガ倉庫、関内・関外エリアの BASEGATE 横浜、さらには元町・中華街エリアのローズホテル横浜、山下公園通りのホテルニューグランドといった臨海部の主要な観光拠点を周遊するルートを予定しています。



横浜都心臨海部からの直行バスの運行予定ルート

■TDM パートナーへのインセンティブ追加（ステッカー配布）

会期中の円滑な交通の実現に向けて、交通需要マネジメント（TDM）の取組にご協力いただける企業・団体の皆さまに、「TDM パートナー」として登録のお願いをしています。ご登録いただいた皆さまには、インセンティブをご用意しており、このたび、新たな特典としてトゥンクトゥンクがデザインされた専用ステッカーを追加しました。



配布ステッカー（イメージ）

裏面あり

＜9月 29 日(火)開催 「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」＞



(左から)トゥンクトゥンク、渡邊 忠則(わたなべ ただのり) 横浜市会議長、平原 敏英(ひらはら としひで) 横浜市副市長、原田 一之(はらだ かずゆき) 横浜商工会議所副会頭、ミャクミャク

横浜市は、「横浜グリーンエクスポ開催半年前メディア発表会」を、９月 29 日（火）に横浜市中区の THE LIVE で開催し、横浜市出展や横浜市主催イベントに関する最新情報を発表しました。



(左から)トゥンクトゥンク、ミャクミャク

続いて、横浜グリーンエクスポ公式マスコットキャラクターのトゥンクトゥンクに加え、大阪・関西万博公式キャラクターのミャクミャクがスペシャルゲストとして登場。ミャクミャクは、横浜の「Ｙ」と応援を意味する「Ｙｅｌｌ」の頭文字をかけた「Ｙ」ポーズを披露し、横浜グリーンエクスポに向けてエールを送りました。トゥンクトゥンクも一緒に「Ｙ」ポーズを決め、会場を盛り上げました。

また、大阪市長の横山 英幸(よこやま ひでゆき)氏からビデオメッセージが寄せられました。大阪・関西万博の経験を踏まえ、早めのチケット購入と早期来場を呼びかけるとともに、「万博のバトンを横浜の皆様へつないでまいりたい」とエールを送りました。さらに、大阪市が大阪府、堺市とともに会場内へブースを出展予定であることにも触れ、「全力で共に歩んでまいります」と、横浜グリーンエクスポの成功に向けた力強いメッセージを寄せました。

加えて、横浜グリーンエクスポをともに盛り上げる横浜市 18 区のマスコットキャラクターを紹介するとともに、トゥンクトゥンクとのコラボレーションポスターを会場内で初公開しました。

＜トゥンクトゥンク×横浜市 18 区キャラクターとのコラボレーションポスター　一例＞



瀬谷区



旭区



緑区

次頁あり

お問合せ先

（開催半年前メディア発表会・コラボレーションポスターについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　古市　　TEL　045-671-4866
（横浜市出展　発信拠点について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　幡野　　TEL　045-671-3787
（横浜市出展　市民活動フィールドについて）
みどり環境局戦略企画課担当課長　岩ヶ谷　　TEL　045-671-4423
（YOKOHAMA GREEN CHALLENGE WEEK、ヨコハマ 18 コレクションについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　西城　　TEL　045-671-3788
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL　045-671-2033
（EXPO 部について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　長谷部　　TEL　045-671-2102
（横浜ネイチャークエストについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　安藤　　TEL　045-671-3786
（直行バスについて）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　山崎　　TEL　045-671-4832
（TDM について）
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局 GREEN×EXPO 推進課担当課長　原田　　TEL　045-671-3789

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令和 8 年 10 月 1 日
脱炭素・GREEN×EXPO 推進局
GREEN × EXPO 推進部

横浜グリーンエクスポで横浜 18 区の魅力を発信
「食」と「エンターテインメント」で区民が主役となるイベント
「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」開催決定
本日からステージパフォーマンス出演者を募集します

2027 年に開催される「横浜グリーンエクスポ（GREEN×EXPO 2027）」の会期中、市内 18 区の特色や魅力を、区民の皆さまが発信する横浜市主催イベント「ヨコハマ 18（イチハチ） コレクション」を開催します。また、本日 10 月 1 日（木）から、ステージパフォーマンスへの出演者の募集を開始します。

本イベントでは、地域で活躍する区民の皆さまが主役となり、「食」と「エンターテインメント」を通じて、横浜市 18 区それぞれの個性や地域の特色を紹介するとともに、地域で育まれてきた文化や伝統、特産品、地域活動など、多彩な魅力を発信します。

このたび募集するステージパフォーマンスでは、音楽、ダンス、演劇など幅広いジャンルを募集します。なお、区の特産品や地産地消の飲食物などを扱うブース出展者についても、11 月 2 日（月）から募集開始予定です。
多くの皆さまのご応募をお待ちしています。

裏面あり

■**募集概要**

イベントの開催にあたり、ステージパフォーマンスを通じて横浜の魅力を発信していただける個人・団体の皆さまを募集します。詳細は特設 Web サイトに掲載する募集要項をご確認ください。

１．募集ジャンル

音楽、ダンス、パフォーマンス、演劇　等

※ブース出展については 11 月２日（月）に改めて募集を予定しています。

２．応募資格

- 個人：市内に在住・在勤・在学していること
- 団体：市内に在住・在勤・在学している人が、出演者に含まれていること

３．募集期間

2026 年 10 月１日（木）から 12 月 28 日（月）まで

４．応募方法

- 電子メール・郵送・応募フォームにて受付。
- 詳細な応募手順や申請書類のダウンロードは、特設 Web サイトをご確認ください。

  ※電子メール及び郵送は 10 月１日（木）から受付を開始します。応募フォームについては 11 月上旬に受付開始予定です。

５．問合せ先

ヨコハマ 18 コレクション運営事務局

電話：050-8888-9556（平日 10:00 から 18:00）

メールアドレス：yokohama18@dna-ex.co.jp

■**「ヨコハマ 18 コレクション」概要**

- **開催時期**：2027 年７月 21 日（水）から７月 29 日（木）まで
- **会場**　　：横浜グリーンエクスポ 会場内（大催事広場（仮称））
- **主催**　　：横浜市
- **主な内容**：
  - **ステージパフォーマンス：**
    ダンスや音楽、伝統芸能などのパフォーマンスを通じて、幅広い世代が楽しめるにぎわいの場を創出し、地域の魅力を発信。
  - **ブース出展**：特産品の提供・PR、食や地産地消等の魅力を発信。

- **特設 Web サイト**：
  https://yokohamagreenexpo-saiji.city.yokohama.lg.jp/18collection/guidelines/

お問合せ先
GREEN×EXPO 推進課担当課長　平原　　TEL：045-671-2033

区連会 10 月定例会説明資料
令 和 8 年 10 月 21 日
都 筑 区 区 政 推 進 課

都市計画マスタープラン・都筑区プランの改定に向けた まちづくりワークショップの開催について（お願い）

1　趣旨

都筑区では、令和７年５月に全市プランが改定されたことを受けて、都市整備局と連携して、都筑区プランの改定に向けた検討を進めています（令和 10 年度改定予定）。

7 月の区連会では、まちづくりに関するアンケートの実施について、ご案内させていただきました。アンケート実施の周知にあたり、ご協力いただき、ありがとうございました。

この度、アンケートの結果も踏まえ、都筑区のまちづくりに関して意見交換するワークショップを実施しますので、お知らせいたします。

【参考】都市計画マスタープランについて

都市計画マスタープランとは、概ね 20 年後を見据えた、まちづくりの目標や土地利用の指針となるものであり、全市プランと 18 区の区プランにより構成されています。

このうち、都筑区プランについては、平成 14 年５月策定し、平成 28 年３月改定を行っています。

2　お願いしたいこと

【区 連 長】ご承知おきください。
【地区連長】地区連合定例会等で周知をお願いします。
【単位会長】単位会長あて資料を送付します。定例会等で周知及び掲示板へのポスター（添付のチラシ）の掲示をお願いします。

3　ワークショップの実施概要

(1)　ワークショップの趣旨

都筑区の魅力を再確認し、これからのまちづくりの目標や将来像等について、グループで意見交換するワークショップを実施します。

(2)　開催日時・場所（※①②とも同様の内容で実施します）

①　令和８年 12 月８日（火）18 時 30 分～　都筑区役所６階大会議室
②　令和８年 12 月 12 日（土）10 時～　　都筑区役所６階多目的スペース

(3)　応募人数

各回 35 名程度（※応募多数の場合は抽選）

(4)　申込締切

令和８年 11 月 25 日（水）

4　《参考》アンケート調査の結果（※結果概要については、添付の資料をご参照ください）

(1)　**実施期間**：令和８年７月 21 日（火）から令和８年８月 31 日（月）まで
(2)　**実施方法**：ＷＥＢアンケート
(3)　**回 答 数**：687 件

（問合せ先）
都筑区区政推進課まちづくり調整担当
担　当：可知、小杉
電　話：045-948-2225
E-mail：tz-plan@city.yokohama.lg.jp





都筑の未来を一緒に描こう

これからの都筑区について、
一緒に考えてみませんか？

＼ まちづくりワークショップ ／

都市計画マスタープラン都筑区プラン改定に向けて

都筑区の魅力を再確認し、
これからのまちづくりを
グループで意見交換します



開催日時

第1回 **12月8日（火）**
18時30分～

第2回 **12月12日（土）**
10時～

第1回と第2回は同様の内容で実施します

会場

都筑区役所
会議室

都筑区茅ケ崎中央32-1

定員

各回
35名 程度
申込多数の場合は抽選となります

対象

都筑区に在住・在勤・在学の方
お買い物などで都筑区を訪れる方

申込締切

11月25日（水）

事前申込制

＼ 詳細・お申込みはこちら ／

※WEBでの申込みが難しい場合は下記問合せ先にお電話ください

都市計画マスタープランとは？

都市の望ましい将来像を描くとともに、
それを実現するための**まちづくりの基本方針**です

全体構想
（全市プラン）

地域別構想
（区プラン）
エリア別方針
区別計画
今回の策定はここ！

区の特徴などを踏まえ、まちの将来像等を示します

問合せ先 横浜市都筑区区政推進課
TEL 045-948-2227
E-mail tz-plan@city.yokohama.lg.jp

＊掲載画像の一部はMicrosoft Copilot（生成AI）を活用して作成しています。

都市計画マスタープラン都筑区プラン改定
まちづくりに関するアンケート結果概要

令和8年10月

横浜市　都筑区　区政推進課



目次

01	調査概要		3
02	結果のまとめ	アンケート結果のまとめ	4
03	回答者について	年代・居住地域・区内居住町名・利用駅	5
04	都筑区に対する評価	満足度・まちの魅力（区内外の比較・区内年代別の比較）	6–8
05	これからの都筑区	まちづくりへの期待（区内外の集計・区内年代別の比較）	9
06	自由意見	都筑区のまちづくりについての意見の概要	10

01 調査概要

アンケートの実施概要

調査目的	都筑区のまちづくりに対する現状の満足度、魅力、これからのまちづくりへの期待を把握し、都筑区プランの改定の参考とします。
実施期間	令和8年7月21日 ～ 8月31日
対象者	・都筑区民の方 ・区内に通勤・通学されている方 ・買い物などで訪れる来街者の方　など
回答方法	Web（電子申請・届出システム）
回答者数	**687人**

アンケート結果のまとめ

01 都筑区に対する満足度は高い

全体の85.9%、区内居住者の89.6%が満足側

02 暮らしやすさや良好な環境が魅力

生活利便性や自然環境、住環境、子育て環境などが高く評価されている。

03 現在の魅力を活かしたさらなる充実を期待

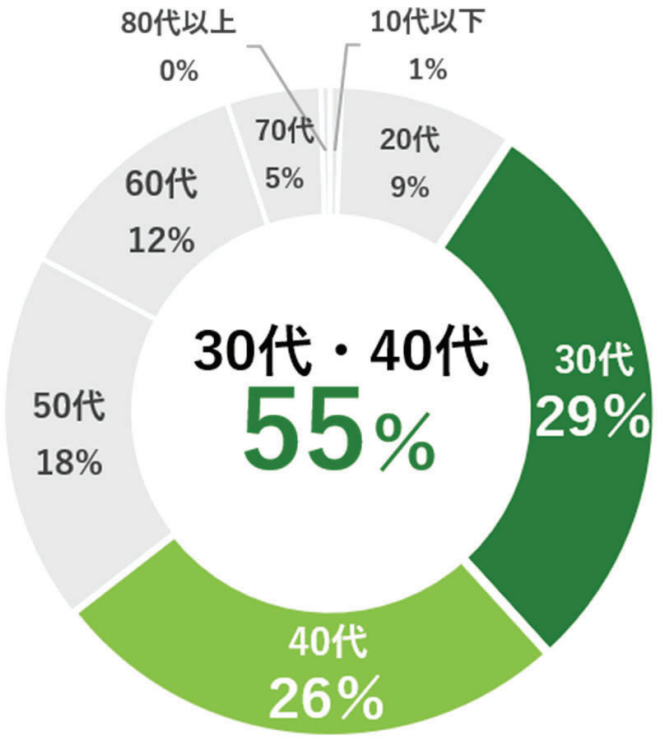
景観やまちなみの維持に加え、公共交通の利便性向上や子育て環境の充実などが求められている。

04 将来のまちづくりに向けた多様な意見

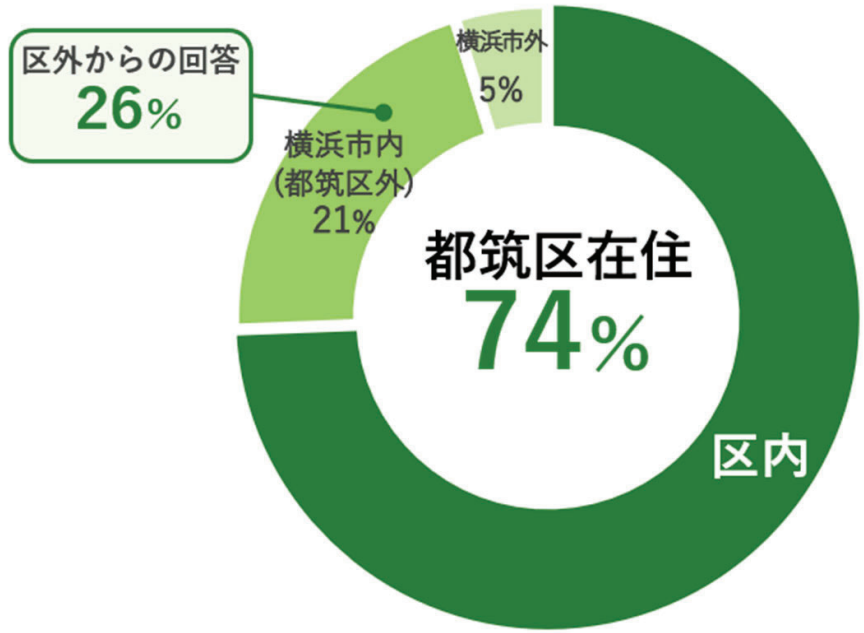
自然環境や住環境を守りながら、交通環境の充実や利便性の向上など、将来のまちづくりに向けた多様な意見が寄せられた。

03 回答者について

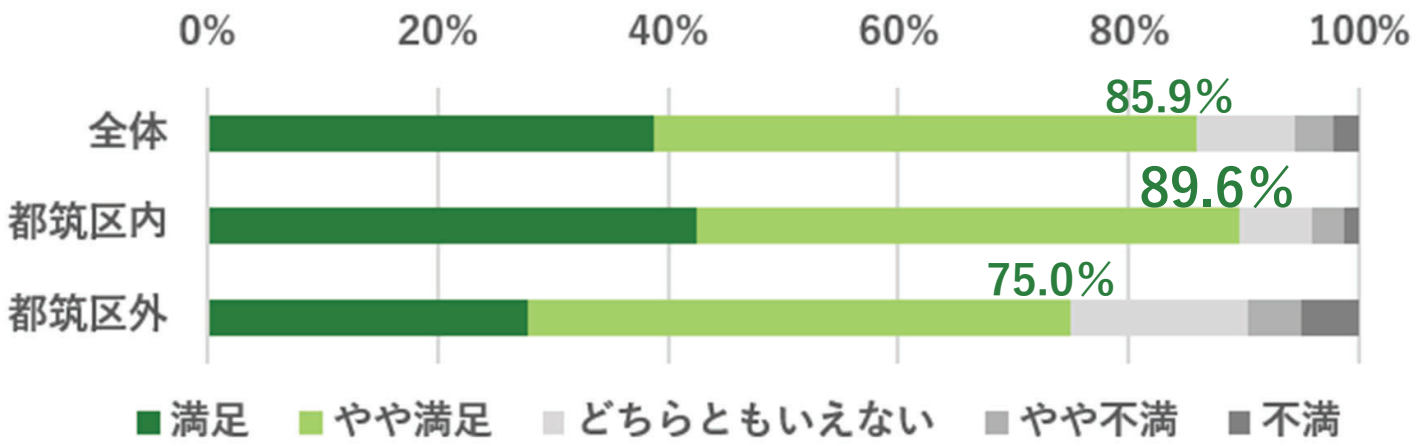
回答者の中心は30代・40代



回答者の約4人に3人が都筑区内在住

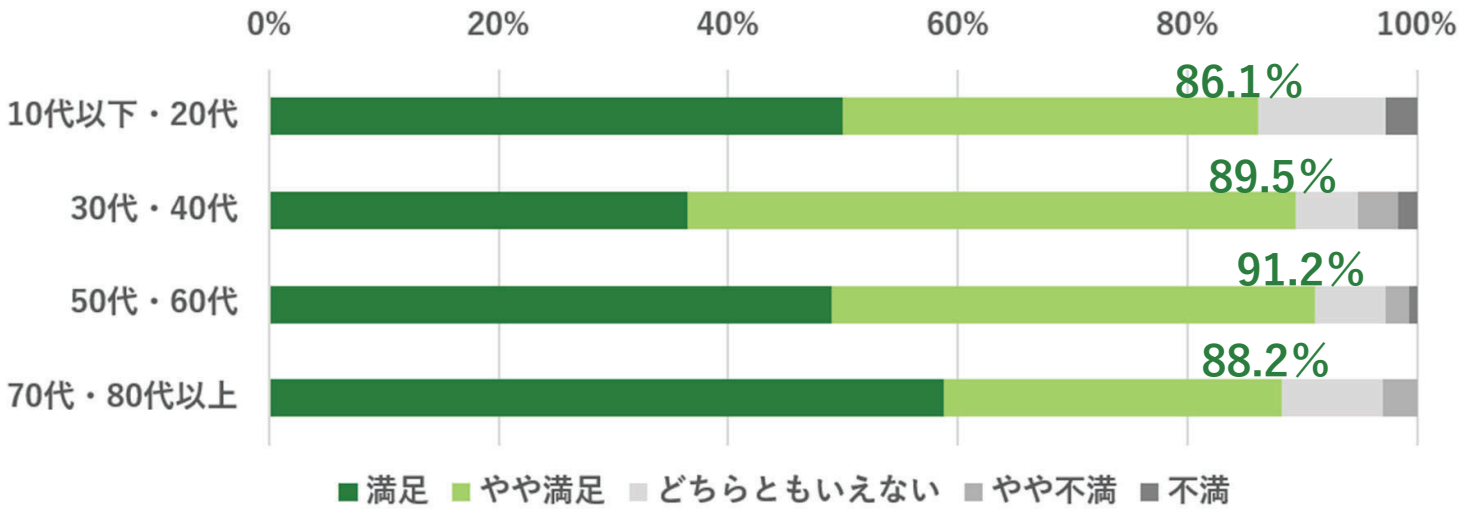


都筑区に対する満足度は85.9%



- **都筑区に対する満足度**（「満足」及び「やや満足」の合計）は**全体で85.9%**です
- 特に**区内在住者では、89.6%**と高い結果が得られました

区内在住者の満足度 ｜ どの年代でも80%以上



- 区内在住者の満足度は、**いずれの年代でも**高く、**満足・やや満足**を合わせた**割合**は、**おおむね9割前後**となりました
- 特に**30代から60代では満足度が高く**、都筑区が**幅広い世代にとって暮らしやすいまちとして評価**されていると考えられます

04 都筑区に対する評価

まちの魅力 |「生活利便性」「自然」「緑道」が主な魅力

項目	全体
6 生活利便性が高い（買い物・医療など）	48.3%
16 緑道や公園などが多く、自然豊か	38.3%
11 緑道や歩行者空間が整備されている	32.8%
7 街並みや景観など住環境が良い	31.3%
5 子育てしやすい環境	28.8%
3 商業・サービス施設が充実し、経済活動が盛んである	26.8%
12 商業施設や駅周辺のにぎわいがある	21.1%
19 治安が良く安心して暮らせる	17.2%
10 バスや鉄道など公共交通が利用しやすい	5.8%
9 通勤・通学の利便性が良い	5.1%
17 農地が多く、農業が盛ん	5.1%
18 せせらぎなどの魅力的な水辺空間がある	5.1%
8 地域活動やコミュニティが活発	4.9%
2 働く場所が身近にある	3.8%
15 多様な資源（自然・歴史等）が活用されている	2.6%
13 イベントや交流機会がある	2.5%
14 文化・スポーツ施設が充実	2.3%
22 魅力だと思う項目がない	2.0%
4 地元産業やものづくりの魅力がある	1.7%
21 その他	1.6%
1 企業や工場が多く立地している	1.3%
20 災害に対する備えがある	0.6%

都筑区のまちづくりに関するアンケート

一番多く選ばれた魅力

生活利便性 48.3%

- 区内在住者は、「生活利便性」「自然環境」「住環境」「子育て環境」など、暮らしやすさに関する項目を魅力として高く評価する傾向でした

まちづくりへの期待｜景観、公共交通、子育て環境への期待

項目	全体
8 良好な景観やまちなみを維持してほしい	28.2%
6 地域公共交通(電車、バス等)の利便性を高めてほしい	25.9%
4 子育て環境をさらに充実してほしい	25.2%
10 駅周辺や拠点の魅力を高めてほしい	21.0%
13 緑道や公園を活用した魅力づくりを進めてほしい	18.9%
17 災害に強いまちづくりを進めてほしい	18.2%
18 防犯対策の充実を図ってほしい	16.0%
5 買い物や医療など生活利便性を高めてほしい	15.3%
7 高齢者も安心して暮らせる環境を充実してほしい	14.8%
2 商業やサービスの充実を進めてほしい	14.6%
15 自然環境を守り・活かしてほしい	14.0%
9 安全に移動できる歩行環境を整えてほしい	13.8%
1 働く場や企業がさらに増えてほしい	10.8%
12 若者や子育て世代が集う場を増やしてほしい	10.2%
14 農地を保全し、農業振興を進めてほしい	8.9%
19 その他	8.6%
3 地元企業や産業の活性化を進めてほしい	7.3%
11 交流やイベントの機会を増やしてほしい	6.0%
16 魅力的な水辺空間を増やしてほしい	4.4%
20 充実してほしいと思う項目がない	1.3%

都筑区のまちづくりに関するアンケート

一番多く選ばれた期待

景観・まちなみ 28.2%

- 将来に向けては、**「良好な景観やまちなみの維持」「地域公共交通の利便性向上」「子育て環境の充実」への期待が高い**結果となりました。
- あわせて、**「駅周辺や、緑道・公園などの魅力づくり」への期待**も求められています。

06 自由意見

都筑区のまちづくりについての意見の概要

自由意見欄に記入していただいた意見は**237件**あり、幅広い多くの意見をいただきました。

主な意見の項目

①都筑区の魅力
②歩行者・自転車・自動車の安全に通行できるまちづくり
③都市基盤の維持・更新と都筑区らしい環境の保全
④センター北駅・センター南駅周辺以外の地域における生活利便性の向上
⑤産業振興・にぎわいの創出・魅力発信
⑥だれもが移動しやすいまちづくり
⑦公共交通
⑧子育て環境・こどもの居場所
⑨高齢社会への対応と多世代共生のまちづくり
⑩地域活動

こんにちは！ 都筑区の主任児童委員です

地域の子育て応援団！



令和7年12月に一斉改選があり、新メンバーが加わり新体制での活動がスタートしました。

私たち主任児童委員は、子どもや子育てに関する支援を専門に担当する民生委員・児童委員です。相談内容に応じて、その地域を担当する民生委員・児童委員や区役所、学校、児童相談所などと連携し、地域の身近な相談相手として子どもや子育てに関する支援活動を行っています。

こんな活動をしています!!



リーフレット配布

新年度のあいさつを兼ねて、4月に区内小・中学校入学者へ主任児童委員リーフレットの配布をお願いに行きます。

子育てサロン

親子で一緒に遊んだり、保護者同士の情報交換、育児相談ができる交流の場です。





外あそび

同じ地域に住んでいる親子が保育園の園庭や公園で一緒に遊びます。しゃぼん玉や水遊び等、地域ごとにイベントも企画しています。





情報交換会

担当地区ごとにわかれて、こども家庭支援課保健師・社会福祉職、学校・関係機関、子育て支援センターPopola（ポポラ）等と情報交換をします。





区民まつり

区民まつりに出店し、児童虐待防止のPR活動をしています。





活動についてのお問合せ先：都筑区民生委員児童委員協議会事務局（都筑区役所福祉保健課）　電話:045-948-2341

都筑区民生委員児童委員協議会　広報委員会

委員長　對馬 千香子（東山田地区）

小泉 千津子（山田地区）　太田 由美子・中丸 友子（中川地区）　内山 あおい（勝田茅ケ崎地区）　角田 恵美子（勝田団地地区）

相原 祐美子・小坂 こずえ（都田地区）　政次 武則・鶴 繁子（池辺地区）　坂本 和生（佐江戸・加賀原地区）　髙橋 輝保（川和地区）　野本 徹夫（都筑荏田地区）

令和8年10月

第30号

民児協だより

都筑の和

（題字）第2代会長　関 久子

都筑区民生委員児童委員協議会

発行責任者
会長　田丸 恵美子
都筑区茅ケ崎中央32-1
☎045-948-2341

都筑区民生委員児童委員協議会

田丸会長よりご挨拶



都筑区民生委員
児童委員協議会
会長｜田丸 恵美子

12月の一斉改選（3年に1回）を経て、このたび都筑区民生委員児童委員協議会の会長を務めさせていただいております、田丸でございます。日頃より地域活動へのご理解とご協力を賜りありがとうございます。皆さまのお力添えに支えられ、さまざまな行事や取り組みが成り立っております。

私たち民生委員・児童委員は、地域の身近な相談役として、行政や関係機関へとおつなぎする「つなぎ役」として活動しています。また、都筑区は2年前に区制30周年という節目を迎え、そして、このたび広報誌も30号を発行することができました。これも地域の皆さま、日頃から活動にかかわってくださる皆さまのおかげと深く感謝申し上げます。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

民生委員・児童委員

地域の皆さんの様々な生活上の困りごとや心配ごとに関する相談に応じ、必要な支援を受けられるよう区役所や地域ケアプラザ等の専門機関につなぐ「つなぎ役」として活動しています。

主任児童委員

民生委員・児童委員の中で、子どもや子育ての支援を行っており、区役所、学校、関係機関等と連携し、支援の窓口へ「つなぐ」役割を担っています。

民生委員の活動内容

民生委員は、地域で暮らす皆さんの身近な相談相手として活動しています。お困りごとや不安などを伺いながら、必要に応じて区役所や地域ケアプラザなどの専門機関につなぐ役割も担っています。



見守り、訪問



サロン・居場所づくり



子育て・子ども支援

お住まいの地域の民生委員・児童委員をお知りになりたいときは、
都筑区民生委員児童委員協議会事務局（都筑区役所福祉保健課（☎045-948-2341））に、お問合せください。

地区の活動紹介

中川地区　お楽しみ会食会



年に3回、中川地区社会福祉協議会と連携して開催しています。

日頃見守りを行っている一人暮らし高齢者の方々にご案内し、バンドの生演奏など催し物と共に、みなさんでお食事とご歓談を楽しんでいただきます。この会食会をきっかけとして、**顔見知り・地域の方・民生委員とつながりを持っていただけるよう**運営しています。

昨年度はいつもと趣向をかえて、都筑消防署の方に「日常の防火防災予防」のお話をしていただきました。とてもためになる内容でしたので、参考になれば幸いです。





佐江戸・加賀原地区　シニアクラブ「和（やわらぎ）」



シニアクラブ「和（やわらぎ）」　2016年結成。佐江戸町の分譲マンション住民を対象に活動し、現在28世帯33名が参加しています。

佐江戸町のシニアクラブ「和（やわらぎ）」では、**安心して地域で暮らし続けるための学習会**を行っています。「まずは自分、次に隣の人を助ける」という思いを大切に、自助・共助の視点で楽しく学びを深めています。

学習会には民生委員も参加し、医療・介護・防災などの知識を地域の皆さんと共に学び、日々の相談活動に活かしています。内容は加賀原地域ケアプラザと連携し、身近で役立つテーマが選ばれています。

日常の防火防災予防

⚠ 転倒予防のための7項目

1. 床に物を置かない。
2. 室内の整理整頓をしている。
3. 滑りやすい靴下やスリッパ等の履物は履かない。
4. コード類を隅に固定している。
5. よく使うものは出し入れしやすいところに収納している。
6. 足元が見えるよう明るくしている。
7. 転倒予防のための運動をしている。

誰でも日常生活の中で備えることができます。
これからの生活の質を維持するためにとても大切なことです。

救急車を呼ぶか
迷ったときには……
#7119に
電話をしてください！



学習会テーマ　介護保険施設について知ろう！

1. 「どうなったら施設入居を考えないといけないか」
2. 高齢者向けの主な施設の説明（サービス内容・費用・近くの施設名など）
   - ❶ **介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）**
     主に要介護3以上を対象とした、介護保険が利用できる看取りまで行う施設
     ＊希望者が多く、すぐに入居することが困難な施設
   - ❷ **介護付き有料老人ホーム**
     介護スタッフが介護サービスを提供する、主に民間企業が運営する施設
   - ❸ **認知症グループホーム**
     要支援2以上の認知症の高齢者を対象とした、入居者が共同で生活する施設
   - ❹ **介護老人保健施設（老健）**
     要介護1以上を対象とした、病院退院後に入る日常生活に戻すことを目指す施設
   - ❺ **その他（住宅型有料老人ホーム・サービス付き高齢者向け住宅など）**
3. 「在宅生活を送るために大切なこと」



令和８年度　～福祉農園～

障害者週間

障害者と地域の 共生フェスタ

～一人ひとりの花が咲く　共生のまち・都筑～

障害のある人もない人も、地域で理解と交流を深めながら、ともに暮らす共生社会を目指すイベントです。

日程　12月１日（火）～12月４日（金）

場所
- 都筑区役所１階区民ホール
- ノースポート・モール２階３コインズ前

区役所１階 区民ホール

12月１日（火）10：00 ～ 12月４日（金）14：30

自主製品販売

12月１日(火)～12月４日(金)
10：00～14：30



都筑区障害者事業所ネットワーク「てつなぎつづき」のみなさんが製作する自主製品を販売します！

野菜販売

12月３日(木)
10：00～14：30



農福連携に協力いただいている農家さんの都筑野菜を販売します！

車いす体験

12月３日(木)



横浜ラポール協力のもと、競技用車いす体験コーナーを設置します！

12月４日(金)10：00～14：30
@区役所１階 区民ホール
缶バッジ作りワークショップ



【お問合せ】
都筑区社会福祉協議会
TEL：045-943-4058
MAIL：info@tuzuki-shakyo.jp

※各企画の日時は変更になる可能性がございます。

【主催】都筑区福祉農園実行委員会　　【共催】都筑区社会福祉協議会障害福祉分科会

今年も

ノースポート・モールで同時開催！

ノースポート・モール２階 ３コインズ前

12月１日（火）10：00 ～ 12月３日（木）20：00

障害者週間パネル展



都筑区での農福連携や福祉農園のあゆみの紹介をはじめ、
障害福祉事業所、ボランティア団体のパネルを展示します。

作品展



「私の好きな花」を表現した紙皿アートを展示します。

盲導犬協会＆都筑区視覚障害者福祉協会

12月３日(木)12:30~13:30



盲導犬デモンストレーション＆
視覚障害当事者によるミニ講演会を行います。

区役所１階区民ホールでもブースを出展！

ノースポート・モール
神奈川県横浜市都筑区中川中央1-25-1

横浜市営地下鉄「センター北」2番出口を出てYOTSUBAKOを通り徒歩1分

令和８年度
第３回

都筑スタイル＋
自治会町内会交流ラボ

自治会活動をもっと楽しく！クリエイティブに！
都筑スタイル＋
都筑の自治会町内会応援事業

交流ラボとは・・・共通の悩みや関心ごとをテーマに学び、気軽に意見交換できる場です。
交流を通じて、これからの自治会活動のヒントを見つけませんか？

～地域活動者に学ぶ、担い手不足時代のヒント～
人が集まり、関わる人が増える地域の場づくり

1.HILLS Club取組み事例の紹介（ゲスト：HILLS Club 中澤氏）
会長・会費なしでも続く、新しいつながりのカタチ
年間80～100件のイベントが生まれる仕組み

2.ゲストインタビュー
人が集まるコミュニティづくりのポイントをインタビュー形式で掘り下げます（進行：NPO法人横浜コミュニティデザイン・ラボ）

HILLS Clubについて
ララヒルズ（北山田）の住民を中心に、趣味や嗜好をきっかけに、人と人がつながる地域コミュニティです。多彩な活動を通じて新たなつながりづくりを実践しています。

3.参加者交流ワーク ～参加したくなる地域活動のヒントをみんなで考えよう～



日時 **令和８年11月28日（土）** **10時～12時**
（受付開始　９時40分）

場所 **都筑区役所１階区民活動センター**

■受講対象者・定員（先着順）
区内の自治会町内会や地域で活動している方、
地域活動に興味がある方　　定員：20名

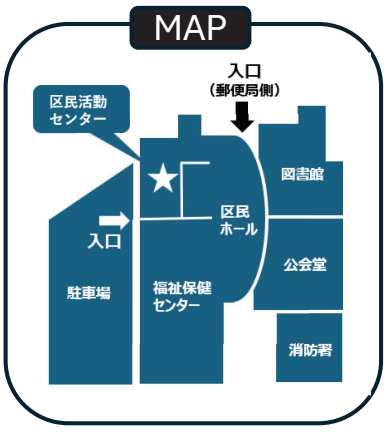
■申込方法（要事前申込み）
横浜市電子申請システムまたは申込書、Eメールにて
必要事項を記入の上、締め切りまでにお申し込みください。
■電子申請システム　右の二次元コードを読み込んでください。
■Eメール　tz-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp
■FAX　045-948-2239

無料

お申込み

申込締切：11月26日（木）17時

MAP



・いただいた個人情報は、「都筑の自治会町内会応援事業」の目的のみに使用します。
・当日の様子を撮影し、ホームページなど「都筑の自治会町内会応援事業」の広報に使用する可能性がありますのでご了承ください。

問合せ先：都筑区地域振興課地域力推進担当　電話番号：045-948-2474　FAX：045-948-2239
メールアドレス　tz-chiikiryoku@city.yokohama.lg.jp

RAISE THE SAIL



21 PF/C
マイク
コッツァー

横浜ビー・コルセアーズ
都筑区 YOKOHAMA CITY DAY 応援DAY

都筑区応援DAY優待観戦チケット

対象席種（3Fメイン コーナー）の観戦チケットを一般価格から1,500円OFFで購入いただけます。

リそなグループ B.LEAGUE 2026-27 SEASON

横浜ビー・コルセアーズ vs 滋賀レイクス

試合日時 11.14 SAT 15:05 TIPOFF

B.LEAGUE PREMIER

試合会場 横浜BUNTAI

横浜市中区不老町2丁目7番1

交通アクセス

- ●JR京浜東北/根岸線「関内」駅下車 徒歩約6分
- ●横浜市営地下鉄「伊勢佐木長者町」駅下車 徒歩約4分
- ●みなとみらい線「日本大通り」駅下車 徒歩約13分

販売概要

11月14日（土）横浜ビー・コルセアーズ
都筑区応援DAY優待観戦チケット

対　　象	都筑区に在住・在勤・在学の方
申込期間	対象席種がなくなり次第終了
対象席種	3Fメイン コーナー（Jブロック）
優待価格	大人：2,000円　小学生1,000円 ※通常大人：3,500円／通常小学生：2,500円



横浜ビー・コルセアーズ
マスコット「ルビー」

優待観戦チケット購入方法

本チラシ記載の二次元コードを読み取り、専用フォームに必要事項を入力し、送信してください。ご入力いただいたメールアドレス宛に、優待観戦チケットの購入URLをお送りします。

詳細・お申し込みはコチラから



バスケ新時代「B.LEAGUE PREMIER」がいよいよ開幕！
最高峰のプレーと熱狂のアリーナ体験を横浜・関内で！

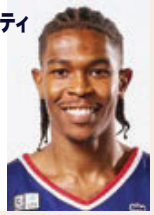
【優待観戦チケットについて】●申込者ご本人が区内在学・在勤・在学であれば、ご家族・ご友人などの同伴者は条件を問いません。●優待価格は 2 枚以上（4 枚まで）購入時のみ適用されます。●チケット料金とは別に B.LEAGUE チケットの「システム利用料」が発生します。●チケット購入の際には B.LEAGUE 会員への登録（無料）が必要です。※未就学児は保護者の膝上で観戦される場合に限り無料です。●お問い合わせは横浜ビー・コルセアーズ公式 Web サイトのお問い合わせフォームよりお願いします。

2026-27 SEASON ROSTER

YOKOHAMA B-CORSAIRS

①生年月日②身長／体重③出身地④出身校

KAMERON MCGUSTY
キャメロン・マクガスティ
①1997年9月9日
②197cm/88kg
③アメリカ合衆国
④マイアミ大学
0 SG



ISAIAH LIVERS
アイザイア・リバース
①1998年7月28日
②198cm/105kg
③アメリカ合衆国
④ミシガン大学
2 SF/PF



GAKUTO ARAI
新井 楽人
①2004年3月11日
②190cm/90kg
③愛知県海部郡
④日本大学
6 SG/SF



KANTA MAENO
前野 幹太
①2002年8月12日
②194cm/90kg
③北海道千歳市
④東海大学
10 SF/PF



TAKUMA SATO
佐藤 卓磨
①1995年5月10日
②197cm/93kg
③北海道札幌市
④東海大学
14 SG/SF



KENTA MORII
森井 健太
①1995年9月22日
②178cm/77kg
③石川県野々市市
④早稲田大学
18 CAPTAIN PG



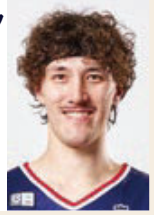
MAIK KOTSAR
マイク・コッツァー
①1996年12月22日
②209cm/122kg
③エストニア
④サウスカロライナ大学
21 VICE CAPTAIN PF/C



KAI KING
キング 開
①2000年2月29日
②185cm/90kg
③横浜市磯子区
④専修大学
23 PG/SG



KENTA WHITAKER
ウィタカ ケンタ
①1997年12月15日
②202cm/106kg
③東京都府中市
④青山学院大学
27 PF/C



KOYA SUDO
須藤 昂矢
①1997年5月15日
②186cm/93kg
③横浜市港南区
④明治大学
30 SG



NARITO NAMIZATO
並里 成
①1989年8月7日
②172cm/72kg
③沖縄県沖縄市
④福岡第一高校
33 PG



KYLE RICHARDSON
カイル・リチャードソン
①1991年4月17日
②198cm/101kg
③アメリカ合衆国
④ポートランド州立大学
34 PF/C



【横浜ビー・コルセアーズについて】横浜ビー・コルセアーズは、海賊（CORSAIRS）の名を冠したプロバスケットボールクラブ。神奈川県横浜市をホームタウンとし、国内男子プロバスケットボールリーグB.LEAGUEのトップカテゴリー「B.LEAGUE　PREMIER」に所属しています。ホームアリーナは横浜BUNTAI（横浜市中区）。「ヨコハマをバスケの街に」をクラブビジョンに、**「RAISE THE SAIL ～共に帆を上げ この街の象徴に～」**をクラブスローガンに掲げ、横浜への愛着と誇りを高め、この街に活力を生み出す存在となるべく活動を続けています。チームは**「TO THE BONE ～骨の髄まで戦い、勝利を奪う～」**というBONEメンタリティのもと、プレーオフ、そしてその先にある頂点を目指し戦っています。

B.LEAGUE PREMIER　YOKOHAMA B-CORSAIRS　YOKOHAMA CITY DAY

「YOKOHAMA CITY DAY」はホームタウンである横浜市と連携し、各区の魅力を発信するホームゲームイベントです。今シーズンは横浜市全18区の「YOKOHAMA CITY DAY」を開催します。







ハマの海賊誕生の地、横浜・関内から出港。

2026年9月、B.LEAGUEの新たなトップカテゴリー「B.PREMIER」がいよいよ開幕。横浜市を本拠地とするプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」は、この最高峰の舞台で新シーズンを迎えます。ホームアリーナは横浜・関内の「横浜BUNTAI」。新たな航海を海賊と共に。熱狂のアリーナ体験を横浜BUTNAIで。

LINE

横浜ビー・コルセアーズ LINE公式アカウント
友だち登録して
試合・チケット・イベントなど
クラブ最新情報をゲット！

b-corsairs.com
ビーコル

BCOR YOUTUBE
見応えたっぷりなコンテンツを配信中
公式YouTubeチャンネルをチェック

株式会社横浜ビーコルセアーズ　〒231-0037 横浜市中区富士見町3-2 清康社ビル6F

げんき！ ゆうき！ つづき！
〈都筑区青少年指導員連絡協議会 広報誌〉

都筑青指だより Vol.47

令和8年10月発行　第47号
発　行：都筑区青少年指導員連絡協議会
編　集：都筑区青少年指導員連絡協議会 広報部会
事務局：都筑区役所地域振興課
都筑区茅ケ崎中央32-1
TEL 045-948-2238

都筑区では、現在113名が**青少年指導員**として活動しています。「**青指**（せいし）」は、**青**少年**指**導員を略した呼び方です。私たち青少年指導員は、地域での活動を通じて、子どもたちが安心して過ごせる場所を作ったり、健やかに育つようサポートしたり、地域の環境をより良くするためにみんなで取り組んでいます。

青指の取組❶

つづきユースフェスティバル

令和8年11月23日（月・祝） 11時～16時半頃予定（入場開始10時30分）

参加費無料（予約不要）

場所：都筑公会堂



都筑区青少年指導員連絡協議会 イメージキャラクター「つづきキズナ」

つづきユースフェスティバルは、都筑区内の中・高校生による吹奏楽の演奏や、ダンス・ジャグリング・合唱の披露を通じた中・高生の自己表現の場の創出を目的としたイベントです。

その他イベント 全市統一行動キャンペーンイラスト表彰式（14：25頃）

出演校タイムテーブル

※時間等は若干の変更が生じる場合があります。

1. 11:15～11:30 都田中学校吹奏楽部



2. 11:35～11:50 東山田中学校吹奏楽部



3. 11:55～12:10 中川中学校吹奏楽部



4. 12:15～12:30 早渕中学校吹奏楽部



5. 12:35～12:50 中川西中学校吹奏楽部



6. 12:55～13:10 川和中学校吹奏楽部



7. 13:15～13:30 茅ケ崎中学校吹奏楽部



8. 13:35～13:50 荏田南中学校吹奏楽部



9. 14:40～14:55 中川西中学校合唱部



10. 15:00～15:15 サレジオ学院中学校・高等学校ジャグリング部



11. 15:20～15:35 茅ケ崎中学校ダンス部



12. 15:40～15:55 中央大学附属横浜中学校・高等学校ダンス部



13. 16:00～16:15 川和高等学校ダンス部







昨年度は全11団体が吹奏楽・ダンス・合唱・ジャグリングなどを披露しました

間伐材を活用したクラフトコーナーを設置予定です





裏面も見てね！

青指の取組❷

毎年夏休みは

はぁと de ボランティア



はぁとdeボランティアは、つづきMYプラザと都筑区青少年指導員が主催する小学5・6年生、中・高生向けのボランティア体験イベントです。夏休み期間中のボランティア体験を通じ、普段関わる機会が少ない年代・地域の人との交流や学びのきっかけを創出することを目的に開催されています。

来年度も皆さんのご参加をお待ちしています！

くわしくはコチラ！

はぁと de ボランティアの流れ

STEP1 オリエンテーション

ボランティアの心構えや活動の注意事項を知ろう！

「ボランティア」についてグループで考えます

STEP2 ボランティア体験

区内の施設や団体・ボランティアグループで活動をしよう！

STEP3 振り返りと修了証授与

活動で学んだことを次のステップにつなげよう！

ボランティアを経験して気付いたこと・感じたことを話し合い、体験前後の自分の気持ちの変化に向き合います

青指の取組❸

子どもの未来に伴走する

青少年指導員は都筑区内の15地区で活動しています。

「ユースフェスティバル」や「はぁとdeボランティア」のほかにも、各地区で地域の子どもたちと一緒に楽しく活動しています！

荏田南地区❶



防災訓練において、荏田南中学の有志生徒が炊き出しのお手伝いをしてくれました。

荏田南地区❷



さわやかスポーツ大会で、子どもたちは様々なスポーツにチャレンジすることができます。

新栄早渕地区





現在5名で活動中です。夕涼み会やスポーツフェスタなど、楽しみながら活動しています。



青少年指導員についてさらに詳しく知りたい方はこちらから！

横浜市　自治会町内会館
脱炭素化推進事業補助金 【案】

横浜市は 2030 年度までの
温室効果ガス排出量 50%
削減を目指しています

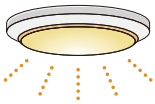
＼令和８年度も／

自治会町内会館の脱炭素化を応援します！

補助率 2/3

対象製品 LED照明器具

蛍光灯は令和９年末で製造廃止予定のため、
今後品薄となることが予想されます。
今のうちに LED への交換をご検討ください。



補助上限額
60万円

省エネ性能 ★★★★☆ 4.0

・統一省エネラベル省エネ性能★４つ以上
・省エネ型製品情報サイト未掲載の場合
トップランナー基準達成製品

電球形 LED ランプのみの
交換も対象
（トップランナー基準達成製品）

対象製品 エアコン



補助上限額
130万円

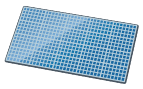
家庭用
省エネ性能 ★★☆☆☆ 2.4
統一省エネラベル省エネ性能
★2.4 つ以上

業務用 トップランナー基準達成製品

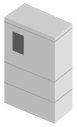
対象製品 断熱窓など



断熱窓



太陽光
発電設備



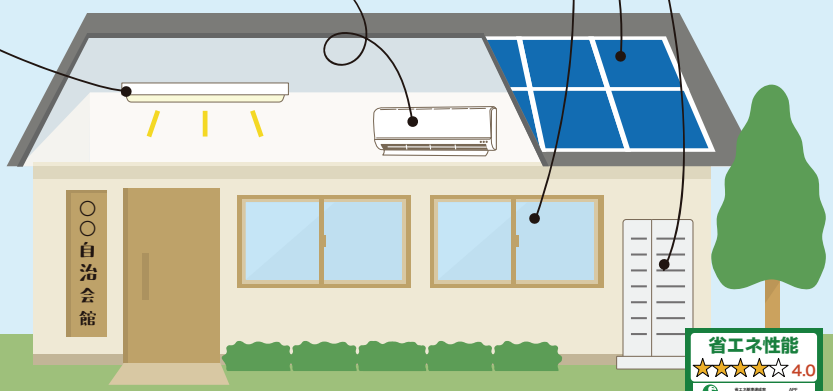
蓄電池

補助上限額
合算で **200万円**

いずれかの実施でも申請ができます。
※断熱窓：会館の状況により、補助基準に合う
製品が見当たらない場合はお問合せください。

対象製品の要件、申請手続き等の詳細は「募集案内」をご確認ください。

横浜市 会館脱炭素





統一省エネラベル：家電の省エネ性能を分かりやすくラベルで表示したもの。
星の数が多いほど省エネ性能が高いことを表しています。

対象団体

会館を所有している※ **自治会町内会**（地区連合町内会を含む）

※会館を自己所有していない場合や、集合住宅等の集会所を活動の拠点としている町内会等も補助対象となる場合があります。
詳しくは募集案内をご確認ください。

申請期限

令和８年~~10月30日（金）~~12月25日（金）まで

11月２日（月）の受付再開後、申請期限は
12月25日（金）までに変更となります！

※予算上限に達し次第、申請受付を終了します。

※令和９年２月末までの整備完了が対象

令和８年４月発行

導入効果

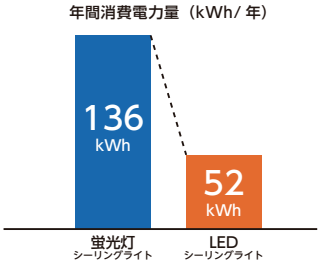
LED 照明器具

年間 CO_2 排出量　1 台あたり

約 **38kg 削減！**

年間電気代

約 **2,600 円おトク！**



出典：スマートライフおすすめ BOOK2023 年度（蛍光灯シーリングライトの年間消費電力量部分）
※今回の対象製品（令和 6 年 1 月時点）の平均値との比較
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2 排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出

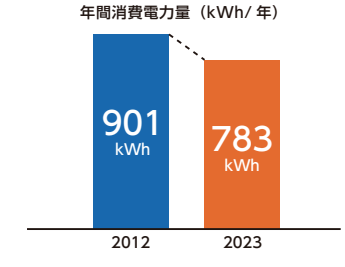
エアコン

年間 CO_2 排出量　1 台あたり

約 **53kg 削減！**

年間電気代

約 **3,700 円おトク！**



出典：スマートライフおすすめ BOOK2023 年度（2012 年製品の年間消費電力量部分）
※今回の対象製品（令和 6 年 1 月時点）の平均値との比較
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2 排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出

断熱窓

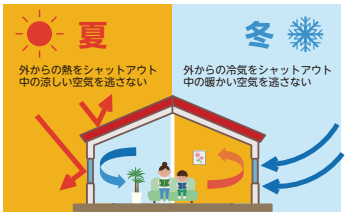
冷暖房費削減効果
（施工前との比較）

年間 CO_2 排出量

約 **340kg 削減！**

年間電気代

約 **23,600 円おトク！**



出典：民間事業者が一般公開しているシミュレーションによる
※躯体の断熱性能は、リフォームの場合は昭和 55 年省エネ基準適合レベルでそろえて算出
※年間電気代は、年間消費電力量に電力料金目安単価 31 円 /kWh（税込）を乗じて算出
※電力の CO_2 排出係数は 0.45kg-CO_2/kWh で算出
※戸建て、窓 10 枚で算出した数値

※一定条件のもと、住宅での使用を想定したものであり、自治会町内会館の実際の使用状況により、導入効果は異なります。

手続きの流れ

意思決定・書類準備 ▶ 補助申請 ▶ 交付決定 ▶ 契約・着手 ▶ 施工業者へ支払 ▶ 完了報告 ▶ 交付額確定 ▶ 補助金の請求 ▶ 補助金の振込

補助申請

申請方法：
Ｅメール･郵送･委託先の横浜市住宅供給公社の窓口への持参（予約制）

申請期限：
令和８年 12月25日（金）

なお、見積徴収・契約する事業者は横浜市内の事業者である必要があります。「募集案内」を必ずご確認ください。

完了報告

令和９年２月26日（金）まで

設備導入後、アンケートや普及啓発の取組に協力いただくことがあります。

申請書提出・問合せ・訪問アドバイザー事前予約

事務委託先　横浜市住宅供給公社 街づくり事業課

電話　**045-451-7740**

※おかけ間違いにご注意ください
※ご来社の際は、事前にご予約ください。

受付時間
平日 9:00～17:00

Ｅメール　yokohama-shoene@yokohama-kousya.or.jp

アドバイザー派遣のご相談

**建築士が会館を訪問し、設備導入の際の工事内容、付帯工事の有無、注意点に関するアドバイスを実施（１時間程度）。
相談・訪問にかかる料金は無料です。**

※ 訪問する建築士は、横浜市が契約をしている事業者です。現地訪問は、調整の上、土・日曜日、祝日も可能。ただし、アドバイザー派遣まで、２週間ほどお時間をいただきます。
※ 事前の調整なしに、横浜市の派遣により事業者が訪問することはありません。
※ アドバイザーは、特定の事業者を紹介することはできません。

事業実施主体：横浜市市民局地域活動推進課

CITY OF YOKOHAMA

都筑区区連会
令和8年10月21日
にぎわいスポーツ文化局

横浜国際プール再整備事業の入札公告について

にぎわいスポーツ文化局

OPEN YOKOHAMA 横浜市

横浜市

横浜国際プール再整備事業について、横浜市民間資金等活用事業審査委員会（以下「PFI審査委員会」という。）の審議等の結果を踏まえ、PFI事業の入札公告を行いましたのでご報告します。

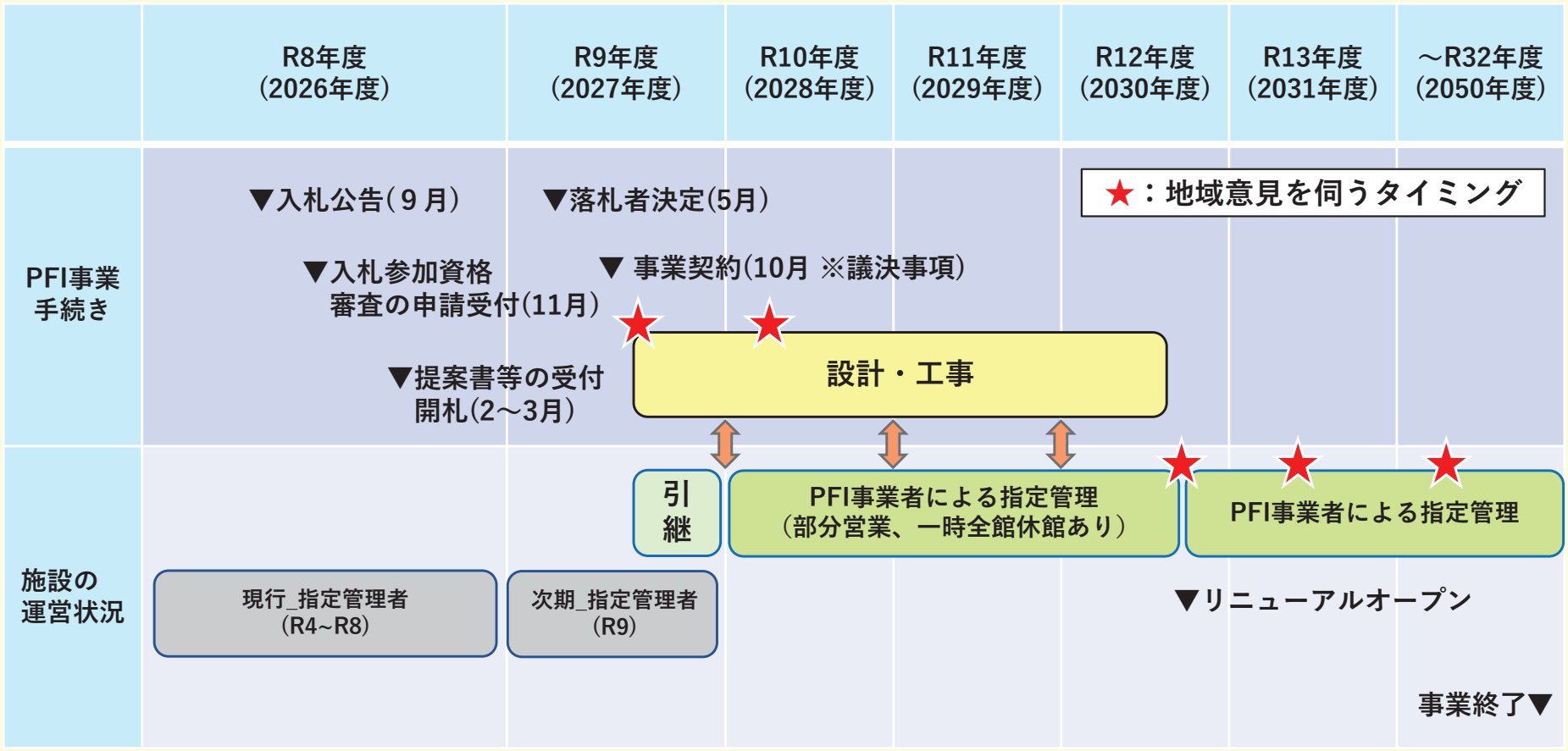
入札の概要等

(1)	事業場所	横浜国際プール（都筑区北山田７-３-１）　※現施設地と同じ
(2)	事業内容	メインアリーナの通年スポーツフロア化、サブプールの機能強化、 新たに整備するプール施設、斜行モノレール、屋外遊具 等の設計、建設、工事監理、運営、維持管理を行います。
(3)	事業期間	事業契約締結日から令和33年３月末まで
(4)	公告時期	令和８年９月末（予定）
(5)	予定価格	入札公告時に公開（入札説明書）
(6)	入札方法	価格及び提案内容等を総合的に評価する、総合評価一般競争入札
(7)	選定方法	市が入札参加資格等の基礎審査を実施し、審査を通過した提案について、 PFI審査委員会が価格点及び性能点による総合評価を行い、落札者を決定します。

【参考】事業の概要等

横浜市

事業スケジュール（予定）



参考資料

明日をひらく都市
OPEN×PIONEER
YOKOHAMA

横 浜 市 記 者 発 表 資 料

令 和 8 年 9 月 29 日
にぎわいスポーツ文化局スポーツ振興部

横浜国際プール再整備事業の PFI 事業者を募集します

横浜国際プール再整備事業を PFI 事業として、施設の整備・維持管理運営を行う民間事業者を公募するため、横浜市報調達公告版（９月 29 日付）において入札公告を行いましたので、お知らせします。

なお、入札説明書等の入札参加に必要な書類は、横浜市ホームページで公表しております。

１　入札概要

事業名称	横浜国際プール再整備事業
事業場所	神奈川県横浜市都筑区北山田七丁目３番１号
事業方式	PFI 事業　既存施設：RO 方式（Rehabilitate-Operate） 新設する施設：BTO 方式（Build-Transfer- Operate）
対象事業	統括管理業務、設計業務、施工業務、工事監理業務、開業準備業務、運営業務、維持管理業務、自主事業に係る業務（任意）
事業期間	事業契約締結日から令和 33 年３月 31 日まで
予定価格	23,938,391,000 円（消費税及び地方消費税相当額を含む）
入札方法	総合評価一般競争入札(※)で落札者を決定します ※ 性能点（審査委員会において評価）と価格点（入札価格）から、総合評価点を算出する方法

【入札説明書等の確認方法】
次のＵＲＬ又は二次元バーコードからホームページにアクセスし、ご覧ください
横浜市ホームページ（横浜国際プール再整備事業について）
https://www.city.yokohama.lg.jp/kanko-bunka/sports/shinko/saiseibi/pool/saiseibi.html

２　主なスケジュール

日　程	スケジュール
令和８年９月 29 日（火）	入札公告
令和８年 10 月５日（月）～14 日（水）	入札説明書等に関する質問・意見受付期間(第１回)
令和８年 11 月４日（水）～６日（金）	入札参加資格審査申請書の受付
令和８年 11 月 13 日（金）～20 日（金）	入札説明書等に関する質問・意見受付期間(第２回)
令和８年 12 月１日（火）～４日（金）	対面的対話
令和９年２月 25 日（木）～26 日（金）	入札及び提案書類の受付
令和９年３月下旬	プレゼンテーション、審査委員会による評価
令和９年５月	落札者の決定及び公表
令和９年９月	事業契約議決、事業契約の成立

お問合せ先
スポーツ振興課担当課長　　稲葉　　TEL　045-671-4445

GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN
2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

令和8年度
都筑区人権啓発講演会

～命を支えるということ～
“がんばらない”けど“あきらめない”

ご自身の豊富な経験談を交えながら、“いのちのいとおしさ、大切さ”についてお話しいただきます。闘病中の方やそのご家族、医療・介護に携わる方、その他人生に思い悩むすべての方に向けた、ユーモアあふれるあたたかい講演会です。

講師

鎌田（かまた） 實（みのる）氏

（諏訪中央病院名誉院長）



東京医科歯科大学（東京科学大学）医学部卒業後、諏訪中央病院へ赴任。30代で院長となり赤字病院を再生。地域包括ケアの先駆けを作った。チェルノブイリ、イラクへの国際医療支援、全国被災地支援にも力を注ぐ。

現在、諏訪中央病院名誉院長、日本チェルノブイリ連帯基金顧問、日本イラクメディカルネット代表、地域包括ケア研究所所長。

開催日

令和8年 12 月 21 日（月）

午後2時～午後3時 30 分

（開場　午後1時 30 分）

会場

都筑公会堂（都筑区総合庁舎1階）

※公共交通機関をご利用ください（駐車場は有料です）



定員

500名（事前申込制、先着順）

入場無料

申込方法

「インターネット（電子申請）※二次元コードから」、「往復はがき」のいずれかからお申込みください。

申込期間：令和8年11 月11日（水）～令和8年12月4日（金）（12月4日消印有効）

※一時保育、手話通訳、車椅子使用をご希望される方は、お申し込み時に記載をお願いします。

インターネット（電子申請）申込はこちら

申込詳細は、都筑区ウェブサイトまたは本チラシ裏面をご確認ください。

都筑区人権啓発講演会　検索

お問合せ先：都筑区総務課人権啓発講演会担当　TEL 948-2212 / FAX 948-2208

申込方法

インターネット(電子申請)の場合

【締切】令和8年12月４日(金)

①申し込みフォームから案内に従って入力してください。

申込はこちら▼

または都筑区ウェブサイトから
お申込みください▼

都筑区人権啓発講演会　検索

②申込期間終了後、メールで送付される**「講演会のご案内」**をプリントアウトしたもの または スマートフォン等の画面に表示したものを、**講演会当日にご持参ください。**

(当日受付にて確認いたします。)

往復はがきの場合

【締切】令和８年12月４日(金)(12月４日消印有効)

①はがきに必要事項を記入してください。

(往信表面)

郵便はがき

85

往信

2 2 4 0 0 3 2

横浜市都筑区茅ヶ崎中央32－1

都筑区総務課

人権啓発講演会担当あて

□□□□□□

(返信裏面)

この面には
何も記入しないでください。

はがきを裏にして

(返信表面)

郵便はがき

85

返信

□□□ □□□□

申込者の

郵便番号
住所
氏名

を記入してください。

□□□□□□

(往信裏面)

①講演会名（人権啓発講演会）
②申込者（氏名、ふりがな）
　２名まで申込可能
　２名の場合、２名分氏名を記入
③住所地（市内(都筑区)、市内(都筑区以外)、市外）
④連絡先電話番号
⑤メールアドレス
⑥利用希望の種類
　一時保育・手話通訳・車椅子
　※希望の場合は明記
　※一時保育希望（２歳～未就学児）
お子さまの氏名（ふりがな）、年齢

②ポストに投函してください。
令和8年 12月４日(金)消印有効

③申込期間終了後にお送りする**返信はがきを、講演会当日にご持参ください。**
(当日受付にて確認いたします。)

・申込者多数により定員を超過した場合は、先着順で参加者を決定いたします。その際、ご参加いただけない方には、**原則として令和８年12月11日(金)までに**、メールまたはお電話にてご連絡いたします。
・一時保育(2歳～未就学児)が必要な場合には、**令和8年11月25日(水)までに**お申し込みください。(人数制限あり)